

学習法Q&A 年末スペシャル

12/27 (月)

- 14:00 ~ 14:50 【第1部】 2023目標の方向けQ&A **p.2~**
 → 槇(和)【財務計算】・小野【財務計算】・安達【管理会計論】・平林【財務理論/学習相談】
- 15:00 ~ 15:50 【第2部】 12月短答40%未満など、5月短答へ向けて基礎を固める2022目標の方向け **p.5~**
 → 鈴木(厚)【財務計算】・小野【財務計算】・早田【管理会計論】・平林【財務理論/学習相談】
- 16:00 ~ 16:50 【第3部】 論文再スタート生向け(本試験答案の振り返りについて等) **p.7~**
 → 東海林【租税法】・大橋【監査論】・小野【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】
- 17:00 ~ 18:00 【第4部】 租税・経営について(前半…論文専攻の方 後半…短答/論文同時進行の方) **p.15~**
 → 中本【租税法】・藤沢【経営学】・小野【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】
- 18:30 ~ 19:30 【第5部】 5月・8月に向けて(前半…ボーダー付近の方、後半…65%未満の方) **p.21~**
 → 藤野【財務計算】・小野【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】
- 19:30 ~ 20:30 【第6部】 社会人受験生/その他なんでもQ&A **p.25~**
 → 小野【財務計算】・金杉【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】・相澤【就職サポート】

< 参考資料 >

p. 9 ~ 財計 基礎マスタ・上級 学習進度表

p. 12 論文直前期 教材の優先順位

p. 13 論文直前期 教材の配分例

p. 16 戦略/組織論 2021→2022 変更予定

p. 17 ~ 経営学 教材使用例, 公式一覧

p. 26 ~ 論文対策 - 日のスケジュール例

14:00 ~ 14:50 【第1部】2023目標の方向けQ&A

→ 槇(和)【財務計算】・小野【財務計算】・安達【管理会計論】・平林【財務理論/学習相談】

【第1部】2023目標の方向けQ&A ご質問内容

Q1/5.

問題文の読む速度、理解の速度が遅いのではないかと考えています。目で読む等の速読の類は何かやったほうがいいのでしょうか？

また、様々な問題のパターンがある中で理解速度をあげるにはどういうところを気を付けたほうがいいのでしょうか？



(上級 2022 6.7月頃～)
理解 → スピード
パターン化
あと? 下書き
ついでに? プラットフォーム

Q2/5.

1日7時間程度の勉強時間をかけていますが、実力テストの点数が取れなくなっています。勉強時間が多いのが良いとは思いますが、自分よりも少ない勉強時間で効率よく成績を上げている方々をSNSでよく見ます。テキスト例題、トレーニングを反復し、時間を意識しながら解いても変化がなく、自信がなくなって落ち込んでいます。勉強時のポイントを教えていただければ幸いです。

解後
復習

ミミ7 満点

原因. 理由. 分析

予 ... とみたりいふお世話.

「計算力」

・インプット ... 講義 トレーニングなどでよくあるひっかけを知る
ミヌー元化
テキストや論点チェック
・事前準備 ... メンテナンス 網羅性でテキスト
2週間以内
正確性・スピード
・アウトプット ... 時間配分 取捨選択 実力テスト、模擬試験、ノート
正確性 (やらしミス対策) 電卓の速さ
・スピード (処理を思い出す速さ)
・(応用力 ... 上級期、理論テキスト)

Q3/5.

テキストにミスを一元化しているのですが、テキストが増えたからか、テスト前などに見返すことがあまりできません。どこに書いてあるかわからないこともあります。そこで、専用にノートにミスや毎回の実力テストの反省をまとめようと思っているのですが、有効でしょうか？

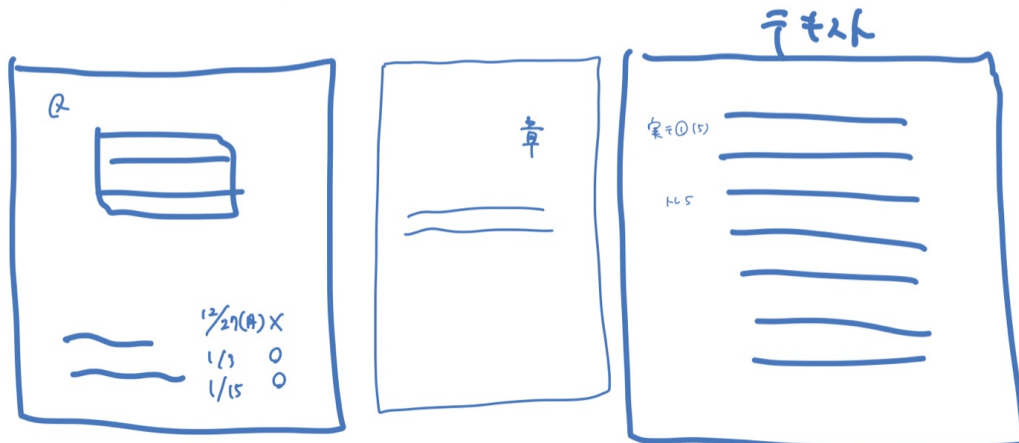
また、先生方がやってよかったミスの振り返り方等あれば、教えていただきたいです。

↓

■よくやるミスは、実力テスト後はテキストと併せて「論点チェックリスト」にマーカー・書き込みで一元化していくのがおすすめです。

■普段からテキストをパラパラ見る習慣を付けておくと、どこにどの論点があるか、ポイントが目飛び込む（思い出せる）ようになってきます。

■もしも別でミスノートを作るとしたら、時系列ではなく論点ごとで作ること（ルーズリーフノートなど）、誤った内容のまとめメモに陥らないように、必ずテキストに立ち戻ってから要点を書きましょう。



財務計算 論点チェックリスト活用例

※web school上部→「学習フォロー」→「教材」→「計算論点チェックリスト」pdf

テキスト①〔金融商品・外貨〕

財務会計論【計算】論点チェックリストⅠ

p.2

論点	内容	CHECK	POINT
手形取引 (続き)	営業外手形		本業以外の取引によって生じた手形は営業外手形として処理する。一年基準により長短分類する。
	手形貸付金・手形借入金		借用証書の代わりに手形を振り出すこともあるが、B/S表示は借用証書の借入金・貸付金と同様。通常は短期であるため、短期借入金・短期貸付金として表示する。
有価証券 (その1)	売買目的有価証券		流動資産に区分する。決算において時価評価を行い、評価差額は純額で営業外損益として処理する。
			売却損益、評価損益、受取配当金、有価証券利息を一括して「有価証券運用損益」として表示することもできる。
			評価差額の処理には切放方式(期首振戻がない)、洗替方式(期首振戻がある)がある。どちらの場合でも利益に与える影響は同じ。
	満期保有目的の債券		一年以内に満期の到来する債券は流動資産に区分する。それ以外は固定資産(投資その他の資産)に区分する。 <i>ト4-5 振替忘れた! 償還日チェックする。ー また忘れた! 18.2.24.3.1.</i>
			取得差額が金利調整と認められる場合には、償却原価法を適用する。
			償却原価法(利息法)はクーポン利息の計上と同時にを行う。償却原価法(定額法)は償還時を除き決算整理で行う。
			償却原価法(利息法)は、帳簿価額に実効利率を乗じ、クーポン利息を控除して償却額を算定する。
	子会社株式・関連会社株式		固定資産(投資その他の資産)に区分する。
			取得原価で評価する。
	其他有価証券		一年以内に満期の到来する債券は流動資産に区分する。それ以外は固定資産(投資その他の資産)に区分する。
			決算において時価評価を行う。評価差額は全部純資産直入法、部分純資産直入法を適用する。 洗替方式による。
			前期に評価損が生じている場合、期首振戻により、全部純資産直入法では其他有価証券評価差額金は消えるが、部分純資産直入法では投資有価証券評価損益は残ることに注意。
			時価があり、かつ、取得差額が金利調整差額と認められる債券は、まず償却原価法を適用し、償却原価と時価との差額を評価差額として処理する。次期期首には評価差額のみを振り戻す。 <i>ト4-9 償却原価と時価の差額を評価差額として処理する。次期期首には評価差額のみを振り戻す。</i>
取得			支払手数料は取得原価に含める。贈与された場合は時価を取得原価とし、受贈益を計上する。
売却			売却手数料は、支払手数料勘定とするか、売却損益に含める。

ト4-9
償却原価と
時価の差額を
評価差額として
処理する。
次期期首には
評価差額のみを
振り戻す。

よくやるミスは、テキストだけでなく

論点チェックリストに書き込んでこまめに確認

「過去問集「易」電」など

Q4/5.

復習を繰り返して、トレーニングを解くのが作業になってしまっている(惰性で解いている)のですが、いいのでしょうか? 解き飽きている問題もあって新しい問題が解きたいのですが、毎回正解するとは限らないのでやっています。だけど、その論点を理解していなくて不正解になるというより、留意事項の見落としなど不注意による間違いが増えます。でも、試験だったらどんな間違いであろうとバツだしなあと思い、また一応解く、とループになっています。どうしたらいいのでしょうか?

ex. テキスト 例題 下書き・注意点・B/s PLで問われる 勘定科目 (勘定)

↓
インプット面・準備/メンテナンス・アウトプット面など、どのような力が足りないのか? を意識した上で、必要であれば解き直しましょう。

留意事項の見落としは、テキストで論点の場合分けなどをおさえていないために起こっている可能性もあります。

「X」を解き直す
強弱。

トレ 大々々 → 解法プロセスを説明
にな、たら できるか

関連論点
1 現題。

Q.5/5

保険として、2022年税理士(簿・財)を取りたいと考えています。対策無しで合格は可能でしょうか?

できなければX
とす

14:00 ~ 14:50 【第1部】2023目標の方向けQ&A

→ 榎(和)【財務計算】・小野【財務計算】・安達【管理会計論】・平林【財務理論/学習相談】

【第1部】2023目標の方向けQ&A

Q. 前の講義内容の復習について

網羅性には欠けるけど。 毎々動かさないとさうのに good

ex. パワーアップ。 もしくは ミニテ。でちよこる

ミニテ 詰まった所
↓
テキスト

* 計算・テキストを持ち歩く、
ふせんを貼る @ 電車

* パワーは
予習 △でも
できただけ受ける
(受けるだけでも)
一考リード

トレは
* Xの付いている問題を優先的に。

* 過去問集の使用時期
トレ、実テ、パーが優先

ex. BM終了後に後 2年コースだと2.3月以降
など。

7月頃
アタマ 開始時期までに
できれば「易」も1度。
など

15:00 ~ 15:50 【第2部】12月短答40%未満など、5月短答へ向けて基礎を固める2022目標の方向け

→ 鈴木(厚)【財務計算】・小野【財務計算】・早田【管理会計論】・平林【財務理論/学習相談】

【第2部】5月短答へ向けて基礎を固める22目標の方向け ご質問内容

講義が残っている場合

Q1/3

短答までに授業をとにかく消化しようと復習がままならないまま基礎マスターの半分程度まで進めましたが、全く間に合わず12月短答も申し込みのみで終わりました。

ここから5→8で合格していくにはどうしていけばいいのでしょうか？

↓
ex. 監査論・財務理論の理屈をざっくり説明できるように意識しながら復習。
租税経営は5月短答後から。

残りの
まずはinput コリキ・終わらせろ。
input. 講義.
科目、論点により
ex. 論点により
テスト、短答練習 → 論点
1. なにを やるの
2. いつまでに " どの時期に
どの状態に
3. 進捗管理
いっの8月で5月か？
論点... 1.1.1.1
又理ができてから

Q2/3

全体的に基礎マスターの復習をまだ完璧にできていません。

上級講義未消化、答練にも手をつけられていない状況です。この先どう進めていくべきでしょうか。

↓
ex. 上級講義を進めつつ、基礎マスターの復習。
短答基礎答練1・2を2月末頃までにペースメーカーとして受験。7/2の上級期ホームルームレジュメを5月短答向けに読み替えて進める。

Q3/3.

3年ぶりに今年企業法の短答を受けて難易度の変化に驚きました。

問題集を回せばとりあえず7割は取れてた以前とはかなり問題の質も変わっていたのですが、7割以上最低でも取るためには、アウトプットよりテキストの読み込みに比重を置いた方がよいのでしょうか？

↓
ex. 3月末まではテキスト重視。テキストの趣旨の理解（特に太枠）は意識。
ただし、覚えるべき知識の特定が終わっていないなら、短答問題集（難易度Aが大幅に取れていないなら、先に「早まくり肢別問題集」を典型論点理解の補助として1・2周）をきっかけにして条文チェックなど。
テキストまとめの表は直前期も活用。

15時-15時50分

【第2部】5月短答へ向けて基礎を固める22目標の方向け Q&A

Q input 講義の受け直しについて。

... 解説を見てわからなければ コリキ・受講など。

Q. 模試でA判定だったが12月X.

焦りなど？

直前期の過激な

本試験とできるだけ合わせる。がんばる。

2021年合格目標

慶應2年プレミアム本科生 講義日程表②

日吉校

【2020年10月12日現在…日程変更になる場合があります。掲示板、または、@C.P.A.にてご確認ください。】

※@C.P.A.(TAC公認会計士講座ホームページ)のアドレスはこちら⇒<http://www.cpa-tac.com/>

※日程変更メール通知サービスもございます。詳しくは@C.P.A.(TAC公認会計士講座の日程表)にて、ご確認ください。

【上級講義】

科 目		回数	クラス	曜 日	時 間	講 師	1	2	3	4	5	6	7																	
財 務 会 計 論	【入門生向け】 上級講義 (計算編)※1	7	P1	月 木	18:30～21:30	井上	12/17 木	12/21 月	12/24 木	1/7 木	1/11 月	1/14 木	1/18 月	※上級講義は全て圧縮講義となります。																
	科 目	回数	クラス	曜 日	時 間	講 師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
	上級講義 (理論編)	20	P1	個別DVD視聴目安		DVD岡安	10/30 金	11/6 金	11/13 金	11/20 金	11/27 金	12/4 金	12/11 金	12/18 金	12/25 金	1/8 金	1/15 金	1/22 金	2/2 火	2/5 金	2/9 火	2/12 金	2/16 火	2/19 金	2/23 火	2/26 金				

科 目		回数	クラス	曜日	時 間	講 師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
管 理 会 計 論	上級講義	10	P1	火 日	火 18:30～21:30 日 10:00～13:00	安達	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/27	1/5
							火	火	火	火	火	火	火	火	日	火

※第10回は圧縮講義となります。
第10回のみ時間変更17:30～21:30

科 目		回数	クラス	曜日	時 間	講 師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
監査論	上級講義	12	P1		個別DVD 視聴目安	DVD中里	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/30	2/6
							土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土

科 目		回数	クラス	曜日	時 間	講 師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
企 業 法	上級講義	12	P1		個別DVD 視聴目安	DVD宮内	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	1/6	1/13
							水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水

2021年合格目標
公認会計士講座アクセス答練 日程表
【2021年5月目標 慶應プレミアム】

TAC日吉校

【2021年1月5日現在…日程変更になる場合があります。掲示板、または、@C.P.A.にてご確認ください。】

※@C.P.A.(TAC公認会計士講座ホームページ)のアドレスはこちら⇒<http://www.cpa-tac.com/>

■ 日吉校 【アクセス答練】

科目	回数	クラス	曜日	時間	講師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
アクセス答練 財務会計【計算】	15	P1	月 木	15:00~	VTR横(和) (集合V)	2/1 月	2/4 木	2/8 月	2/11 木	2/15 月	2/18 木	2/22 月	2/25 木	3/1 月	3/4 木	3/8 月	3/11 木	3/15 月	3/18 木	3/22 月
科目	回数	クラス	曜日	時間	講師	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
アクセス答練 管理会計	15	P1	火 金	15:00~	VTR早田 (集合V)	2/2 火	2/5 金	2/9 火	2/12 金	2/16 火	2/19 金	2/23 火	2/26 金	3/2 火	3/5 金	3/9 火	3/12 金	3/16 火	3/19 金	3/23 火
科目	回数	クラス	曜日	時間	講師	1	2	3	4	5										
アクセス答練 財務会計【理論】	5			配布のみ！実施日目安→		3/27 土	4/3 土	4/10 土	4/17 土	4/24 土										
科目	回数	クラス	曜日	時間	講師	1	2	3	4	5										
アクセス答練 監査論	5			配布のみ！実施日目安→		3/27 土	4/3 土	4/10 土	4/17 土	4/24 土										
科目	回数	クラス	曜日	時間	講師	1	2	3	4	5										
アクセス答練 企業法	5			配布のみ！実施日目安→		3/27 土	4/3 土	4/10 土	4/17 土	4/24 土										

◆アクセス答練 財務【理論】・監査論・企業法について

- ・答練時間は30分です。
- ・解説講義はありません。
- ・答案採点の対象となります。
- ・慶應プレミアムコースは配布のみとなります。

16時-16時50分

【第3部】論文再スタート生向け ご質問内容

Q1/6.

「なんとなくこういう感じ」という感覚では点が取れないことを痛感しています。

自分自身の考えていることを言葉にするためには、どういう力が必要になるのでしょうか？

科目で使われる用語やフレーズを覚えて使いこなすようにするイメージですか？

暗記などをして、点数に結びつくまでのタイムラグはどのくらいありますか？

↓

まずは理屈の骨組みと、「一言でいうと」というキーワード→その後使える専門用語をどんどん増やしていく

監査論はすぐに結びつくイメージ。

監. 論同 point テキスト 読む 1 体 → 2 分で 理論問題は 平均 超え.

Q2/6.

各科目の論文対策教材の中での優先順位、位置付け等を一覧することができる資料があれば教えて頂けると幸いです。

cf. p.12, 13

Q3/6.

<財務会計論計算と管理会計論テキストについて>

財務会計論計算と、管理会計論のテキストは21年目標のままでよいと伺いました。

ただ、確認したところ、重要性や収益認識テキストの例題等少し異なっていると思うのですが、マーカー等写して新しくしたほうがよいでしょうか。

テキストに間違いや注意点を集約していたので、21目標のものを使い続けたいです。

Q4/6.

<監査論の論文対策について>

改訂された監査基準委員会報告書315を拝見したのですが、あまりに変更され怖気づきました。監査論の論文対策は論文対策問題集の暗記理解と、テキストに抜粋されている監査基準委員会報告書の規定をさらうこと、答練で充分でしょうか。 + 論文対策情報.

他に効果的な学習方法・方針があればご教示願えますと嬉しいです。

キホンの部分は同じ. (改正論点には 427 100-100% あり.)

2021 (論). 第1回 KAM. 除外科目. 租税区分. (限) 上記に理由.
 本試験 第2回 74-100 と 年数 (9個 出さる?)
 貸付金. 実在性. } キホンの 2つ以上 出さる? 出さる? はず. 24以外は 差付かず.
 . 54回 } 第2回の 1-44に直結.

Q5/6.

来年は会計学を得点比率52以上必ず取りたいのですが、1週間の財務、管理計算の比重はどれくらいに保つべきでしょうか？管理は費用対効果悪いからあまり時間を掛けなくて良いと合格者に言われたので... (社会人経験有り受験専念生)

↓

- ①大幅なインプット不足の段階なのか、
- ②あと一步アウトプット面などで向上が必要な段階なのか、
- ③定期的なメンテナンスで足りる段階なのかで勉強時間の比重は変わってきます。

「計算力」

- ・インプット ... 講義 トレーニングなどでよくあるひっかけを知り、予習や復習を繰り返す (ミス一元化)
- ・事前準備 ... メンテナンス 2週間以内など 網羅性、正確性、スピード 論文アクセスなど
- ・アウトプット ... 時間配分、取捨選択 論文アクセス、論文対策

・正確性 (やらかしミス対策)
・スピード (処理を思い出す速さ) 変換ミス
・(応用力 ... 上級期、理論テキスト)

- ①インプット不足の段階...経営学や監査・企業の時間を絞ってでも、一時的に大きく充てる必要があるかもしれません。
- ②アウトプット不足の段階...状況によりますが、正確性・スピードが大きく足りないなら、毎日目次を見て論点/処理を思い出すことと、実際に解いてみるが必要かもしれません。難易度Aがどれくらい取れていないかにより変わってきます。
- ③メンテナンス段階なら、2日に1度0.5~1.5時間程度 (論文アクセスなどの一部解き直し+テキスト確認) だったり、実際に解かない日は論点チェックリストやテキスト確認をざっと行うことでも足ります。特に管理は、一回テキストのインプット (テキストを閉じて自信を持って言葉の意味・処理が説明できる状態) が終わると、毎日か2日に一度0.5~0.8時間などで足りることが多いです (アドバイスした合格者は、短答合格時にここまで達していた可能性があります)。

管理会計は素点ゼロ・大問の得点比率になるリスクが高い科目です。

無闇に時間を投入することは不要ですが、**テキスト上の基本的な処理に自信を持てる状態**には持っていきましょう。

Q6/6.

Twitterなどで、基礎マスターの範囲が重要とよく見るのですが、テキストのどの部分が基礎マスターの部分なのでしょうか。

(新しくTACへ移籍してきて、論文専攻上級本科生での申込をしたため基礎マスターの講義を受けることができないため、教えて頂けると嬉しいです。)

↓

財務計算について、参考までに、学習進度表を共有します。

P.9~

管理会計やその他の科目については、基礎マスター・上級問わず、テキストの内容は重要です。

東海研さん	論文3年目時。 全科目得意にすること。 素点目標も立てた。 (企・組免除)	理	105/130点	まずは 苦手な論点を把握 どんな難易度でも35点/100確保。 目標。
		計	30/25点 半分	
		管		
		経	理論 35/50 計算 35/50	
大橋さん	論文2年目時。 1日で2科目。3-4人づつ (直前期以外)	監	50点/100点	

テキスト ① ~ ④, ⑩ - 一部 (BM1.3) p.9

学習進度表（基礎マスターⅠ）①

回数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第1回	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	次項参照
	第1章 損益計算書・貸借対照表の区分表示	P. 1 ~ P.116	2-1~3-2	
	第2章 現金及び預金		短答2-1	
	第3章 手形取引			
第2回	第4章 有価証券（その1）			
	I. ~IV. 有価証券から生じる収益			
	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	次項参照
	第4章 有価証券（その1）	P.117 ~ P.146	4-1~4-8	
第3回	V. ~VI. 6. 市場価格のない株式等の取扱い		短答4-1	
	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	次項参照
	第4章 有価証券（その1）	P.148 ~ P.167	4-9~4-11	
	VI. 7. ~IX. 有価証券台帳		短答4-2	
第4回	テキスト②	テキスト②	トレーニング②	次項参照
	第1章 棚卸資産	P. 1 ~ P. 60	1-1~1-7	
	I. ~Ⅻ. 2. 原価率の算定方法		短答1-1	
	第2章 有形固定資産			
第5回	第1章 リース取引（その1）			
	I. ~IV. 2. リース料支払時の処理			
	テキスト②	テキスト②	トレーニング②	次項参照
	第2章 有形固定資産	P.112 ~ P.141	2-9~4-2	
第6回	第3章 無形固定資産		短答2-1~	
	第4章 投資その他の資産		短答2-2	
	テキスト③	テキスト③		
	第1章 リース取引（その1）	P. 1 ~ P. 6		
第7回	第2章 繰延資産			
	第3章 繰延資産			
	第4章 繰延資産			
	第5章 繰延資産			

(注) 事前復習論点はその回の講義において、前回の講義内容以外で特に復習が必要な論点になります。
(注) 基礎マスターⅠ第8回講義ではテキスト②を使用する予定です。

学習進度表（基礎マスターⅠ）②

回数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第8回	テキスト②	テキスト②	トレーニング②	—
	第6章 固定資産の減損（その1）	P.157 ~ P.188	6-1~6-7	
	第8章 研究開発費とソフトウェア	P.209 ~ P.217	短答6-1	
	I. ~Ⅲ. 4. (1) 制作費に係る会計処理		~短答6-3	
第9回	テキスト②	テキスト②	トレーニング②	次項参照
	第8章 研究開発費とソフトウェア	P.218 ~ P.235	8-1~8-3	
	Ⅲ. 4. (2) ~IV. まとめ		短答8-1	
	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	
第10回	第8章 貸倒引当金	P.265 ~ P.288	8-1~8-5	
			短答8-1	
			~短答8-2	
第11回	テキスト③	テキスト③	トレーニング③	次項参照
	第7章 税金	P.169 ~ P.182	7-1	
	テキスト④	テキスト④	トレーニング④	
	第1章 引当金	P. 1 ~ P. 33	1-1~2-4	
第12回	第2章 社債		短答1-1	
	I. ~Ⅲ. 臨時買入償還		~短答2-1	
	テキスト④	テキスト④	トレーニング④	次項参照
	第2章 社債	P. 34 ~ P. 47	2-5~2-6	
第13回	第4章 繰上償還		短答2-2	
	Ⅳ. ~V. 繰上償還		トレーニング①	
	テキスト①	テキスト①	6-1~6-2	
	第6章 外貨換算会計（その1）	P.203 ~ P.210		
第14回	I. ~Ⅲ. 決算時の会計処理			
	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	次項参照
	第6章 外貨換算会計（その1）	P.212 ~ P.247	6-3~6-6	
	Ⅳ. ~V. 6. まとめ		短答6-1	
第15回	第6章 外貨換算会計（その1）		~短答6-3	
	第3章 純資産の部	テキスト④	トレーニング④	—
	第4章 自己株式	P. 49 ~ P. 97	3-1~5-2	
	第5章 新株予約権			
第16回	第6章 新株予約権付社債	テキスト④	トレーニング④	次項参照
	第7章 自己新株予約権	P. 99 ~ P.134	6-1~8-2	
	第8章 株主資本等変動計算書（その1）		短答7-1	
	第9章 繰延資産		~短答8-1	
第17回	第10章 繰延資産		トレーニング②	
	第11章 繰延資産		5-1	
	第12章 繰延資産		短答5-1	
	第13章 繰延資産			

学習進度表（基礎マスターⅢ）①

回数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第1回	テキスト③	テキスト③	トレーニング③	テキスト③
	第4章 資産除去債務	P. 67 ~ P.109	4-1~5-2	P.14~P.15
	第5章 退職給付会計（その1）		短答4-1	テキスト④
	I. ~IV. 会計処理		~短答5-1	P.10
第2回	第5章 退職給付会計（その1）	テキスト③	トレーニング③	—
	V. ~Ⅷ. 確定拠出制度	P.110 ~ P.151	5-3~5-4	
			短答5-2	
第3回	テキスト④	テキスト④	トレーニング④	テキスト④
	第11章 ストック・オプション（その1）	P.175 ~ P.208	11-1~11-4	第5章
			短答11-1	
第4回	テキスト③	テキスト③	トレーニング③	テキスト③
	第8章 税効果会計（その1）	P.183 ~ P.213	8-1	第7章
	I. ~VI. 5. 未払事業税			
第5回	テキスト③	テキスト③	トレーニング③	テキスト①
	第8章 税効果会計（その1）	P.214 ~ P.264	8-2~8-5	P.138~P.143
	Ⅶ. ~Ⅹ. 一時差異（まとめ）		短答8-1	テキスト②
			~短答8-2	P.122~P.126
第6回	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	テキスト①
	第5章 有価証券（その2）	P.169 ~ P.201	5-1~5-5	P.116
			短答5-1	P.122~P.146
				テキスト④
第7回	第9章 金融商品			P.61~P.64
				第5章

学習進度表（基礎マスターⅢ）②

回数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第8回	テキスト①	テキスト①	トレーニング①	テキスト①
	第10章 ヘッジ会計	P.335 ~ P.351	10-1	P.204~P.217
	I. ~Ⅲ. 2. ヘッジ手段としての金利スワップの会計処理		短答10-1	テキスト③
	第7章 外貨換算会計（その2）	P.249 ~ P.263	7-1~7-3	P.232~P.237
第9回	第10章 ヘッジ会計	テキスト①	トレーニング①	テキスト④
	Ⅲ. 3. 予定取引	P.352 ~ P.368	10-2	第5章
	テキスト④	テキスト④	トレーニング④	P.109~P.111
	第10章 分配可能額	P.147 ~ P.173	10-1~10-2	テキスト①
第10回	第11章 繰延資産		短答10-1	P.138~P.143
			~短答10-3	P.204~P.229
				第3章
				P.70~P.75

学習進度表（基礎マスターⅢ）補講

回数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング
第1回	テキスト⑩	テキスト⑩	トレーニング⑩
	第1章 保証債務 ← 2021 論 理 論 出 題	P. 1 ~ P. 47	1-1~3-1
	第2章 商品売上の記帳方法		短答2-1
	第3章 特殊商品売買		~短答2-2
第2回	I. ~Ⅱ. 未着品売買		
	第3章 特殊商品売買	テキスト⑩	トレーニング⑩
	Ⅲ. ~V. 試用販売	P. 48 ~ P. 81	3-2~3-9
第3回	第3章 特殊商品売買	テキスト⑩	トレーニング⑩
	Ⅵ. ~Ⅷ. 商品券・他店商品券	P. 82 ~ P.151	4-1~5-1
	第4章 製造業会計		短答3-1
	第5章 本社工場会計		

(注1) 上記は予定であり、変更の可能性あります。

(注2) 当該補講講義は、試験における出題可能性や習得に要する時間等を考慮し、通常講義とは別に
行う講義です。

テキスト⑤～⑨、⑩一部(BM2.4)

学習進度表（基礎マスターⅡ）①

回 数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第1回	テキスト⑤ 第2章 連結財務諸表の雛形 第3章 連結財務諸表の基礎知識 第4章 連結財務諸表作成の簿記一巡 第5章 資本連結①投資と資本の相殺消去 Ⅰ. ～Ⅳ. のれん	テキスト⑤ P. 69 ～ P. 109	トレーニング⑤ 5-1～5-4	—
第2回	テキスト⑤ 第5章 資本連結①投資と資本の相殺消去 Ⅴ. ～Ⅶ. 連結計算表の作成 第6章 資本連結②子会社の資産及び負債の時価評価	テキスト⑤ P. 110 ～ P. 150	トレーニング⑤ 5-5～6-1	—
第3回	テキスト⑤ 第7章 資本連結③子会社株式の追加取得 第8章 資本連結④子会社株式の一部売却 第9章 資本連結⑤ 子会社の増資 Ⅰ. ～Ⅱ. 持分比率が変化しない増資	テキスト⑤ P. 151 ～ P. 185	トレーニング⑤ 7-1～9-1 短答7-1 ～短答8-1	—
第4回	テキスト⑤ 第9章 資本連結⑤ 子会社の増資 Ⅲ. 持分比率が変化する増資 第10章 資本連結⑥ 子会社が保有する自己株式 第11章 成果連結① ダウン・ストリーム Ⅰ. ～Ⅲ. 商品売買取引	テキスト⑤ P. 186 ～ P. 237	トレーニング⑤ 9-2～11-2 短答9-1 ～短答10-1	—
第5回	テキスト⑤ 第11章 成果連結① ダウン・ストリーム Ⅳ. ～Ⅵ. 未達取引	テキスト⑤ P. 238 ～ P. 271	トレーニング⑤ 11-3～11-6 短答11-1	—
第6回	テキスト⑤ 第11章 成果連結① ダウン・ストリーム Ⅶ. 固定資産に係る未実現損益の調整 第12章 成果連結② アップ・ストリーム 第13章 持分法 Ⅰ. ～Ⅱ. 4. 持分法による投資損益のP/L表示	テキスト⑤ P. 272 ～ P. 287 P. 305 ～ P. 363	トレーニング⑤ 11-7～11-8 12-1～12-4 短答12-1	テキスト⑤ 第5章
第7回	テキスト⑤ 第13章 持分法 Ⅱ. 5. ～Ⅵ. 未実現損益の調整	テキスト⑤ P. 364 ～ P. 421	トレーニング⑤ 13-1～13-9 短答13-1 ～短答13-2	テキスト⑤ 第6章、7章 8章、11章
第8回	実力テスト①	—	—	—

(注) 基礎マスターⅡ第9回講義ではテキスト⑤を使用する予定です。

学習進度表（基礎マスターⅣ）①

回 数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第1回	テキスト⑥ 第1章 連結財務諸表の雛形 第2章 評価差額の実現 Ⅰ. ～Ⅱ. 減価償却による評価差額の実現 Ⅳ. Ⅰ. ～2. 減価償却による実現 第4章 連結財務諸表における税効果会計 (その1) Ⅰ. ～Ⅲ. 税効果適用していない例題と税効果適用している例題の対応関係	テキスト⑥ P. 1 ～ P. 25 P. 33 P. 49 ～ P. 131	トレーニング⑥ 2-1～2-2 4-1～4-4	テキスト③ P.187～P.194 テキスト⑤ 第5章 第6章 P.238～P.255 第12章
第2回	テキスト⑥ 第4章 連結財務諸表における税効果会計 (その1) Ⅳ. ～Ⅶ. 具体的処理 第6章 支配獲得までに株式を段階的に取得している場合 第7章 持分法から連結への移行	テキスト⑥ P. 132 ～ P. 173 P. 199 ～ P. 214	トレーニング⑥ 4-5～4-13 短答4-1 ～短答4-2 6-1～7-1 短答7-1	テキスト① P.176～P.189 テキスト③ P.247～P.250 テキスト⑤ 第6章 第7章 第13章
第3回	テキスト⑥ 第8章 持分法適用までに株式を段階的に取得している場合 第9章 連結除外 第10章 連結から持分法への移行 第11章 持分法適用除外	テキスト⑥ P. 215 ～ P. 265	トレーニング⑥ 8-1～11-1	テキスト① P.176～P.189 テキスト⑤ 第8章 P.370～P.381
第4回	テキスト⑦ 第1章 連結財務諸表の雛形 第2章 子会社及び関連会社におけるその他の有価証券評価差額金 第3章 子会社が保有する親会社株式 第4章 在外子会社の財務諸表の換算	テキスト⑦ P. 1 ～ P. 67	トレーニング⑦ 2-1～4-1 短答3-1	テキスト① P.152 第6章 テキスト⑤ P.52～P.57 第7章 第8章 第10章 P.378～P.381
第5回	テキスト⑦ 第5章 在外子会社の連結 第6章 連結財務諸表における包括利益 Ⅰ. ～Ⅳ. その他の包括利益累計額	テキスト⑦ P. 69 ～ P. 155	トレーニング⑦ 5-1～5-2 短答5-1 ～短答5-2	テキスト③ P.232～P.237 テキスト⑤ P.244～P.255 P.272～P.287

学習進度表（基礎マスターⅡ）②

回 数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第9回	テキスト⑤ 第1章 本支店会計 Ⅰ. ～Ⅶ. 財務諸表の作成	テキスト⑤ P. 1 ～ P. 47	トレーニング⑤ 1-1～1-4 短答1-1	テキスト⑤ P.88～P.91 P.234～P.237 P.244～P.271 テキスト② P.52～P.56
第10回	テキスト⑤ 第1章 本支店会計 Ⅸ～Ⅹ. 在外支店の財務諸表項目の換算 テキスト⑧ 第1章 企業結合 (その1) Ⅰ. ～Ⅲ. 企業結合の会計処理	テキスト⑤ P. 48 ～ P. 67 テキスト⑧ P. 1 ～ P. 13	トレーニング⑤ 1-5～1-7 短答1-2	テキスト① P.204～P.210 テキスト④ P.52 テキスト⑤ P.88～P.109 P.145～P.150
第11回	テキスト⑧ 第1章 企業結合 (その1) Ⅲ. ～Ⅴ. 株式取得による企業買収 第2章 企業結合 (その2)	テキスト⑧ P. 14 ～ P. 57	トレーニング⑧ 1-1～2-2 短答2-1 ～短答2-2	テキスト④ P.78～P.81 テキスト⑤ P.88～P.109 P.145～P.150
第12回	テキスト⑨ 第1章 キャッシュ・フロー計算書 Ⅰ. ～Ⅴ. 商社 飲料製造業のキャッシュ・フローの表示例	テキスト⑨ P. 1 ～ P. 37	トレーニング⑨ 1-1～1-2	テキスト① 第2章 P.80～P.83 テキスト② P.18～P.19 テキスト③ P.170～P.173
第13回	テキスト⑨ 第1章 キャッシュ・フロー計算書 Ⅴ. ～Ⅶ. 4. 非資金損益項目	テキスト⑨ P. 38 ～ P. 65	トレーニング⑨ 1-3～1-6 短答1-1	テキスト① 第1章、第2章 P.113～P.115 P.126～P.131 P.266～P.277 テキスト③ P.2～P.24

学習進度表（基礎マスターⅡ）③

回 数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第14回	テキスト⑨ 第1章 キャッシュ・フロー計算書 Ⅶ. 5. ～Ⅷ. 外貨に係るキャッシュ・フロー	テキスト⑨ P. 66 ～ P. 107	トレーニング⑨ 1-7～1-12 短答1-2	テキスト④ 第1章 テキスト① P.204～P.229
第15回	テキスト⑨ 第1章 キャッシュ・フロー計算書 Ⅸ. 事業譲受及び事業譲渡に係るキャッシュ・フロー テキスト② 第9章 建設業会計	テキスト⑨ P. 108 ～ P. 128 テキスト② P. 237 ～ P. 263	トレーニング⑨ 1-13 トレーニング② 9-1～9-3 短答9-1	テキスト⑧ P.26～P.27
第16回	実力テスト②	—	—	—

学習進度表（基礎マスターⅣ）②

回 数	学 習 内 容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第6回	テキスト⑦ 第6章 連結財務諸表における包括利益 Ⅴ. ～Ⅶ. 持分法	テキスト⑦ P. 156 ～ P. 236	トレーニング⑦ 6-1～6-3 短答6-1 ～短答6-3	テキスト① P.148～P.151 P.336～P.346 テキスト⑦ 第2章
第7回	テキスト⑦ 第7章 連結財務諸表における退職給付会計 テキスト⑧ 第3章 企業結合 (その3) Ⅰ. 企業結合の会計処理	テキスト⑦ P. 237 ～ P. 280 テキスト⑧ P. 59 ～ P. 65	トレーニング⑦ 7-1～7-3 短答7-1 トレーニング⑧ 3-1 短答3-1	テキスト③ P.110～P.139 P.206～P.210 テキスト⑥ 第6章 テキスト⑦ 第2章 テキスト⑤ P.2～P.13
第8回	テキスト⑧ 第3章 企業結合 (その3) Ⅱ～Ⅲ. 3. 親会社が子会社を株式交換完全子会社とする場合	テキスト⑧ P. 66 ～ P. 99 P. 112 ～ P. 118	トレーニング⑧ 3-2～3-5 短答3-2 ～短答3-3	テキスト⑤ P.2～P.13 P.40～P.44
第9回	テキスト⑧ 第4章 事業分離 (その1) Ⅰ～Ⅱ. 4. (1) 分離先企業が子会社となる場合	テキスト⑧ P. 119 ～ P. 158	トレーニング⑧ 4-1～4-5 短答4-1 ～短答4-2	テキスト⑤ 第7章 P.196～P.203 テキスト⑥ 第6章 テキスト⑤ P.26～P.27
第10回	テキスト⑧ Ⅱ. 4. ②～5. のれん等の算出に関するまとめ テキスト⑨ 第2章 連結キャッシュ・フロー計算書 (その1)	テキスト⑧ P. 160 ～ P. 183 テキスト⑨ P. 129 ～ P. 163	トレーニング⑧ 4-6～4-8 トレーニング⑨ 2-1～2-3 短答2-1 ～短答2-2	テキスト⑤ P.136～P.135 P.175～P.180 P.230～P.237 P.364～P.381 テキスト⑥ 第8章 テキスト⑩ P.4～P.99
第11回	実力テスト	—	—	実力テスト

上級講義

p.11

学習進度表（上級）①

重宝・A論え

回数	学習内容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第1回	テキスト② 第7章 固定資産の減損（その2） テキスト③ 第2章 リース取引（その2） 第3章 リース取引（その3）	テキスト② P. 189 ～ P. 207 テキスト③ P. 41 ～ P. 65	トレーニング② 7-1～7-3 短答7-1 トレーニング③ 2-1～3-1 短答2-1	テキスト② 第6章 テキスト③ 第1章
第2回	テキスト④ 第9章 株主資本等変動計算書（その2） テキスト⑥ 第12章 間接所有	テキスト④ P. 135 ～ P. 146 テキスト⑥ P. 267 ～ P. 295	トレーニング④ 9-1 トレーニング⑥ 12-1～12-3 短答12-1	テキスト② 第8章 テキスト⑤ 第12章 テキスト⑦ P. 156～P. 169
第3回	テキスト⑥ 第3章 子会社株式の一部売却に関連する法人税等 第13章 取得関連費用	テキスト⑥ P. 35 ～ P. 48 P. 297 ～ P. 335	トレーニング⑥ 3-1 13-1 短答13-1	テキスト① P. 110 テキスト⑤ 第7～8章 第13章 テキスト⑥ 第6～7章 第9～10章
第4回	テキスト⑨ 第3章 連結キャッシュ・フロー計算書（その2） Ⅲ. ～V. 取得関連費用に係るキャッシュ・フロー テキスト⑧ 第6章 共同支配企業の形成	テキスト⑨ P. 174 ～ P. 204 テキスト⑧ P. 217 ～ P. 246	トレーニング⑨ 3-2～3-4 短答3-1 ～短答3-3 トレーニング⑧ 短答6-1	テキスト⑥ 第9章 テキスト⑦ 第4章 P. 162～P. 166 テキスト⑨ P. 108～P. 115 P. 152～P. 154
第5回	追加論点講義テキスト 第1章 収益認識に関する会計基準 第2章 トレーニングの差替対応	追加論点講義テキスト P. 1 ～ P. 54	—	テキスト② P. 14～P. 20 第9章 テキスト③ P. 177～P. 182 テキスト⑩ P. 21～P. 26

学習進度表（上級）②

B.

回数	学習内容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第6回	テキスト④ 第13章 1株当たり情報	テキスト④ P. 215 ～ P. 234	トレーニング④ 13-1～13-4 短答13-1 ～短答13-2	テキスト④ 第5章 P. 109～P. 111 第11章
第7回	テキスト③ 第10章 会計上の変更及び誤謬の訂正 第11章 四半期財務諸表 I. ～II. 税金費用の計算	テキスト③ P. 275 ～ P. 323 P. 325 ～ P. 331	トレーニング③ 10-1 短答10-1 短答11-1	テキスト① P. 266～P. 277 テキスト② P. 30～P. 35 P. 116～P. 121 P. 218～P. 233 テキスト③ 第7章 P. 184～P. 197 テキスト⑥ P. 62～P. 67
第8回	テキスト③ 第11章 四半期財務諸表 Ⅲ. ～V. 雛形 第9章 税効果会計（その2）	テキスト③ P. 332 ～ P. 345 P. 265 ～ P. 274	トレーニング③ 11-1 9-1	テキスト① P. 148～P. 151 テキスト③ 第8章
第9回	テキスト⑧ 第7章 被結合企業の株主に係る会計処理 第8章 その他有価証券評価差額金がある場合の企業結合・事業分離	テキスト⑧ P. 247 ～ P. 391	トレーニング⑧ 7-1～8-2 短答8-1	テキスト⑦ 第2章 テキスト⑧ P. 12～P. 13 P. 40～P. 44 第4章
第10回	テキスト⑥ 第2章 評価差額の実現 Ⅲ. 支配獲得時における未認識差異 第5章 連結財務諸表における税効果会計（その2） テキスト⑤ 第11章 成果連結① ダウン・ストリーム Ⅷ. ～IX. 社債取引	テキスト⑥ P. 26 ～ P. 33 P. 175 ～ P. 197 テキスト⑤ P. 288 ～ P. 304	トレーニング⑥ 5-1 トレーニング⑤ 11-9～11-11 短答11-2	テキスト① P. 74～P. 85 P. 126～P. 131 テキスト④ P. 20～P. 32 テキスト⑥ P. 8～P. 25 第3章 第4章 第9章 テキスト⑦ 第5～7章

学習進度表（上級）③

回数	学習内容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
第11回	テキスト⑨ 第3章 連結キャッシュ・フロー計算書（その2） I. ～II. 手形取引 第4章 連結キャッシュ・フロー計算書（その3）	テキスト⑨ P. 166 ～ P. 173 P. 205 ～ P. 231	トレーニング⑨ 3-1 4-1	テキスト⑤ P. 232～P. 255 P. 272～P. 287 テキスト⑨ P. 54～P. 99 第2章
第12回	テキスト③ 第6章 退職給付会計（その2） テキスト④ 第12章 ストック・オプション（その2） 追加論点講義テキスト 第3章 取締役の報酬等として株式を無償交付する取引に関する取扱い	テキスト③ P. 153 ～ P. 167 テキスト④ P. 209 ～ P. 213 追加論点講義テキスト P. 55 ～ P. 70	トレーニング③ 6-1～6-2 短答6-1	テキスト③ P. 87～P. 139 テキスト④ P. 198～P. 202
第13回	テキスト⑧ 第3章 企業結合（その3） Ⅲ. 4. 親会社と子会社が株式移転設立完全親会社を設立する場合 第5章 事業分離（その2）	テキスト⑧ P. 100 ～ P. 111 P. 185 ～ P. 216	トレーニング⑧ 3-6 5-1～5-2	テキスト⑧ P. 45～P. 51 P. 82～P. 99 第4章

学習進度表（上級）④

回数	学習内容	テキスト	トレーニング	事前復習論点
補講 (3回)	テキスト⑩ 第6章 帳簿組織 第7章 伝票会計 第8章 連結財務諸表の基礎知識（その2） 第9章 権利落ち株式 第10章 子会社の欠損 第11章 関連会社の欠損 第12章 子会社の新株予約権 第13章 セグメント情報	テキスト⑩ P. 153 ～ P. 345	トレーニング⑩ 6-1～12-2 短答6-1 ～短答13-2	テキスト① P. 60 P. 88～P. 91 P. 194～P. 197 P. 409～P. 416 テキスト② P. 26～P. 27 テキスト④ 第5章 テキスト⑤ 第7章 第9章 P. 244～P. 255 テキスト⑦ 第4章

[参考] 21目標論文直前Q&Aセミナーから、 教材の優先順位について (Last 3週間)

Q.論文答練がいくつか残っているのですが、全体、科目ごとの優先順位について教えてください。また、通信講座で受講しているのですが、7/31必着分までしか試験前に返ってこないとのことでしたので、その面も考慮したところをお聞きしたいです。
Q.絶対これだけは外せない!というリストのようなものがあれば知りたいです。

↓

7/31以降残っている理論科目の答練は、答案構成をするなどの使い方にさせていただくとよいと思います (8/31必着分まで採点は承りますが、返却が試験後となります)
そのほか教材の優先度については、以下、参考にしてくださいませ。

財務計算…テキスト例題や論点チェックリストのパラ見

網羅性

論文アクセス (1-10、12は回転対象) で適宜総合問題形式の問題演習 (できれば毎日30分~1.5時間)

※時間制限を30分など厳しくして、難易度Aを正確に拾う練習など

正確性・スピード

目次から言葉の意味・処理が思いつく? 志茂

管理計算…テキスト精読+論文アクセス又は論文総合問題集を使い論文形式に慣れる (できれば毎日30分~1時間)

+答練の一部を使って問題の読み取り・部分点を拾う練習 数日に1回

管理理論…論文理論問題集の暗記 (テキストも理解)

財務理論…論文式checkpointの理屈部分は、理屈部分「~であるため、」「~であることから、」の構成のパーツ数を覚えた上で、キーワードを1つは使えるように広く浅く対策。理屈が全く何も浮かばない論点の無いように、テキストを4~6日でざっと1周など回転頻度を上げる。

1月末頃までに丁寧に1周→その後は2週間程で→

Last 3週間は1週間以内目標

今の時期なら論文対策講義4回

(並行して「想起」開始)

1周など

企業法…答練と直前講義テキストの典型論点を使って、事例型や制度説明型の答案構成の流れを知る。

規範定立・要件を覚える。不安がある場合には早急に講師に相談。

現時点で残っている答練があれば、問題を見て合計30分ほどで答案構成を考える使い方など。

全く何も浮かばない論点が無いように、問題集は広く浅く使う。

3月末までにテキストの理解強化。(主に太科)

監査論…論文問題集Point部分・箇条書き部分暗記、テキストゴシック体暗記。

直前講義テキスト後半事例問題ざっと確認

3月末頃までに別途配布。

現時点で残っている答練があれば、問題を見て30分ほどで答案構成を考える使い方など。

租税計算…法人税テキスト①+アクセス1-5、基礎答練1-3、アクセス6-9を回転 (できれば10・11も)

毎日法人税50分、所得税30分、消費税10分など取り組む

現時点で残っている答練計算部分があれば、膨大な資料から簡単な箇所を拾う練習として使う。

(計算部分のみ解く場合には80分で解く)

応用答練以降は、Aで間違えた箇所はホセを貼りペンポイントで解く。

初見時

ミスはテキスト章扉や大きめの白紙に論点ごとに一元化しておく。

租税理論…答練全9回 (応用答練2回、模試2回、直前3回、理論補強答練2回) から、

要約条文にマーカー・出題箇所書き込み→ゴシック体を中心に毎日要約条文の通読 (社会人でも5-15分など)

基準集を使って答練理論部分を毎日一つ解き直し。目次から条文を探す練習 (15分で1回分など)

経営計算…章末問題 毎日2~3章 合計0.5~1時間

(章末問題でストレスを感じなければ、問題集レベル1を4問ほど飛ばしつつ3~5問ずつ×一日2章・3章)

経営理論…テキスト・答練・直前講義テキストのキーワードを要点まとめて一元化して暗記 (定義は理解しておく)

5日実施

5日生の場合

マインドマップへの一元化でも good.

※理論補強答練は、租税と企業は問題集の一部として加えましょう。他の科目は参考程度見ましょう。

論文専攻の場合

中だるみ防止+理解強化に活用。

以下は暗記の精度を上げるためできれば3・4日で1周したいです。(あくまでLast 3週間。)

監査論…論文問題集Point部分・箇条書き部分暗記、テキストゴシック体暗記 (一部監査報に記載あり)

経営理論…テキスト・答練・直前講義テキストのキーワードを要点まとめて一元化して暗記

管理理論…論文理論問題集の暗記 (3月末まではテキストの理解を優先。目次から言葉の意味・処理が思いつく? 志茂)

参考

論文直前期
5月解答後～
使用教材、
両方例

(赤文字は超直前期
Last 3週間)

租税

理論 計算

ex. 毎日 2～2.5h
毎日20～30分
90分
答練 理論テキスト
出題箇所を
要約条文に
一元化!

毎日
1つ
解直す

- ① 租税 (税務) 関係の法律 (租税法律主義)
- ② 租税 (税務) 関係の行政 (租税行政)
- ③ 租税 (税務) 関係の訴訟 (租税訴訟)
- ④ 租税 (税務) 関係のその他 (租税その他)

Point

- ・ 租税はテキストを見ながら毎日アセス・答練
- ・ 経営計算は1日2章分章末又は問題集
- ・ 直前答練までの答練消化 (時間配分の練習、形式に慣れる)

財理

ex. 2～3h/日
30分×4～6セット

答練・直前講義テキスト
での出題箇所を
テキストにマーク!

論理構成&キーワード
おさえる

- ① テキストの設け方 > 直前期は
② テキストの設け方 > 直前期は
③ テキストの設け方 > 直前期は

経営

理論 計算

ex. 5～15分/日
1日1～2章 3.4章
要点まとめcheck
(適宜本文で
話の流れを確認)
マインドマップ活用
* 人名とひもつける。
複素まとめキーワード
覚える時は頭文字を使う。
本文・答練に要点まとめに集約

超直前期は
朝晩、3～4日で
(1回)

慣れ
きたら
0.5～1h/日

企業

監査

財務

管理

計算

問題集

答案構成

おさえる

Last 3週間
答案構成練習は
毎日10分×6～8回
など

テキスト目次で
論点を思い出す
テキストの通読
0.5
0.2～1.5h
計算 0.5～1h

ex. 15分/日
理論問題集
毎日4～6ページ
(全40ページ)

財務

監査

財務

管理

計算

問題集

答案構成

おさえる

財務

監査

財務

管理

計算

問題集

答案構成

おさえる

計算

問題集

答案構成

おさえる

計算

問題集

3月末まではテキストで理解・暗記を意識

超直前期は「想起」がメイン

4～6日で1周したい。

1ページ1分以下でとんとんめくる * 目次・章扉 word から論点が思い出せるか?

10～15分
毎日通読

租
アセス直前答練... 反復教材
応用直前答練... 時間配分の
取捨選択の
練習 (Aはおさえる)

問題集の3
解答で2回を繰り返す
CJで読む
意図がわかるように



例 XXX
例 XXX
例 XXX
例 XXX

例 XXX
例 XXX
例 XXX
例 XXX

年末/年明け以降4月下旬頃までのポイント

1. 採点前本試験答案を分析する。

問題文と解答予想・自分の答案を見比べる。理論で問いに答えられていたか。

※2・3月頃のオンラインセミナーで、2021年度合格者答案の分析を行う予定です。

2. 4月の論文全国模試1回目で

下振れしても全科目・全大問で平均を確保できるように、
各科目ある程度照準を合わせる。

インプット強化、覚えるべき知識の特定、アクセス・答練でアウトプット練習。
自分なりに積み残しが無い状態に。

3. 理論科目のインプット強化を進める。

苦手な論点について、web論点別講義や質問を活用。
テキストの内容が自信を持って説明できるか。

※インプット面で少しでも不足を感じる論点については、計算との兼ね合いも
見つつ、web論点別講義を受講（集中できない時間帯など）。

4. 過年度答練の解答を覚えない。テキストでインプットする。

■論点ズレの原因となるため、答練の模範解答を丸暗記しない。

あくまで試験中の行動（問題文の読み取り・問いへの答え方）や、
試験前の過ごし方の修正のきっかけとする。

■テキストで理解した材料を使って、問題文に対して素直に答える練習をする。

3月頃までの答練は、暗記というよりもテキストの理解・問題の読み取り・
応用力を意識する。

（テキストの文章理解を固めた結果として、暗記の精度が高まるのはOK）

■過年度の答練は、基本的に封印する。

（例外：1月の論文アクセス開始時期までの計算科目過年度論文アクセスや、
余程気に入っている計算短答アクセス）

<論文全国公開模試 第1回> 平日クラス 4/26(火)～28(木)
土日クラス 4/30(土)・5/1(日)

<論文全国公開模試 第2回> 平日クラス 6/28(火)～30(木)
土日クラス 7/2(土)・3(日)

17:00 ~ 18:00 【第4部】租税・経営について（前半…論文専攻の方 後半…短答/論文同時進行の方）

→ 中本【租税法】・藤沢【経営学】・小野【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】

17時～18時

【第4部】租税・経営について ご質問内容

前半…論文専攻の方 後半…短答/論文同時進行の方

Q1/5.

租税過年度生です。本試験では偏差値52程でした。改めて基礎マスターから講義を受講し、テキストの例題の確認および論点の理解を強化しています。この際にトレーニングにも取り組むべきでしょうか。テキストの例題を回転させておき、アクセス、答練へと進んでも問題ないでしょうか。（学生）

（社会人...
の場合）
1度 → テキスト・アクセス
できるだけ
ストレスなく終わるように。

Q2/5. 藤沢先生の経営学の板書についてですが、別途ノートを用意して板書をとるか、付箋をテキストに貼ってテキストと板書を一元化させるのとどちらの方がオススメです。（専念生）

↓

通信で受講でしたら、講義録の板書にメモ書きをしながら受講して、ファイリングするのがおすすめです。

（参考までに、私は通学で藤沢先生の講義を受講していたため、板書/講義ノート・マインドマップ・テキスト書き込みを画面共有します。）

短答/論文同時進行の方から

Q3/5.

5月短答に向けて勉強していますが、8月論文も諦めたくありません。租税や経営の講義については受けるだけは受けておこうと思っているのですが、どの程度復習に時間をかければいいのか、最低ラインを知りたいです。（学生）

3月末 講義をどこまで受けるか。
までは ex. ポスターまで10%ほど... 上げまで

ex.

会計学の状況にもよりますが、以下参考にしてくださいませ。

10%以上なら... BM 7回
法コン

租税…講義直後に30分～1時間 例題復習（ミスは一元化しつつ。できればトレーニング1回以上。特に法人税）

ex. 直後5分 → 翌日には必ず章末1回 30分以内

経営…講義直後に20分～30分（公式を見ながら、数値例・章末問題）、その後次回講義までにもう1回章末問題（公式を見ながら）など。3月末までに章末問題2～3回（財務計算などに余裕が出てきたら、できれば3月末までに問題集「レベル1」を1度公式を見ながら解くなど）

最低限 講義 10回. (～2月中旬まで) ... 3月末まで 章末2. レベル1 1回

5月短答以降に、毎日2章分、公式を使って章末問題やレベル1をつまみ食いで30分～1時間解き、1週間で論点1周。2・3週間で問題集レベル1を1周など。

8月～レベル2は目を通す

Q4/5.

式の展開 苦手か? cf. 1月後半式展開

分数の計算について

30分経講義配信予定

5月短答を受ける可能性が高い社会人受験生です。

租税も経営も1月～3月で段々とウェイトを減らしていくことになると思いますが、限られた時間の都合で、租税を厚めにやる方がいいか、経営を厚めにやる方がいいか悩んでいます。個人的には、短期集中講義のある租税は5月以降に固める余地があるため今は経営のファイナンスを厚めにすべきなのかと考えたのですが、どちらがよいでしょうか。

↓

経営学は、公式を見ながら講義直後に数値例・章末問題を解くこと、その後こまめに5～15分など公式を見ながら章末問題もしくは問題集レベル1を解くことができているならば、5月以降に毎日30分などで十分に合格レベルまで持っていっている受験生が多いです。

社会人の方は特に時間が限られていますので、自習時間としては財務理論や、租税でいえば特に法人税テキスト①に3月末までは充てた方が、総合的に見ておすすめです。経営をもし厚めに対策するとしたら、まとまった時間を取るよりも、公式に慣れるために隙間時間でこまめに触れて頻度を上げる対応がおすすめです。

Q5/5.

租税理論、経営理論は論文3ヶ月前でも間に合いますでしょうか? 2つとも一応全範囲去年の8月時点で終わっててそこから触ってない状態です。(社会人経験有り専念生)

【第4部】租税・経営について Q&A

4回

2021 → 2022. 戦略論 / 組織論 変更

1月中旬. テスト③

箇所

・マーケティング なくなる

テスト④ 新試

+

・イノベーション 厚くなる

4月～ 一般的なもの

・ベンチャー企業, ベンチャーキャピタルの追加

租

2021 → 2022

改正

改正

法 特利控除 ござい.

2021 → 2022で

テスト更に使いたく

作り変えてる

「価値」... 理論価値の計算

株式評価

○配当割引モデルの基礎 *インカム・アプローチ*

0 1 2 3 ...

配当 d_1, d_2, d_3

株価 P_0, P_1, P_2, P_3

$P_0 = \frac{d_1 + P_1}{1+k}$ $P_1 = \frac{d_2 + P_2}{1+k}$ $P_2 = \frac{d_3 + P_3}{1+k}$

$P_0 = \frac{d_1}{1+k} + \frac{d_2}{(1+k)^2} + \frac{d_3}{(1+k)^3} + \dots$

将来の株価は明らかではない。ここは仮定して置く。

市場で得られる期待利回り

配当割引モデル $\sum_{t=1}^{\infty} \frac{D_t}{(1+k)^t}$

○定率成長モデル *定率は与えてはくれるからいい*

1. 基礎 (p.18 向6)

0 1 2 3

$P_0 \leftarrow d_1, d_1(1+g), d_1(1+g)^2$

$P_0 = \frac{d_1}{1+k} + \frac{d_1(1+g)}{(1+k)^2} + \frac{d_1(1+g)^2}{(1+k)^3} + \dots$

$P_0 = \frac{d_1}{k-g}$

数字表示

必要時手計算

必要時手計算

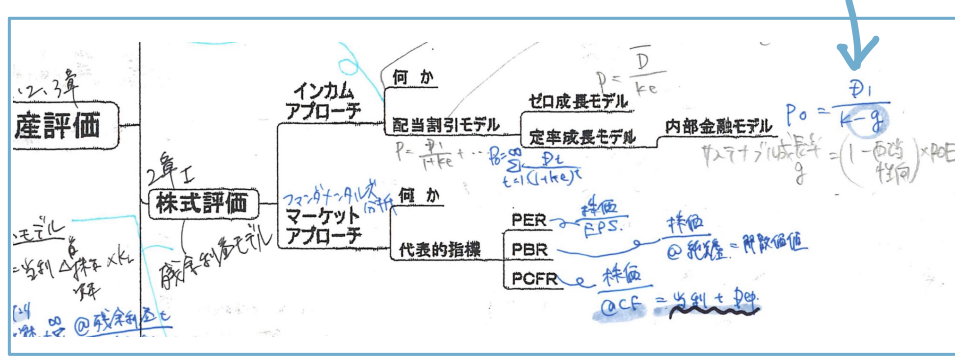
重要な公式は
マインドマップへメモ

待つ歩ける&増やせるように
A5サイズのリーフ式ノートを使いました

ペンで
書いている部分...
板書部分
(講義録で
代替可能)

シャープペンで
書いている部分...
講義中のメモ

すぐに開けるように
「各章「要点のまとめ」ページ」
見出しふせん



章末要点まとめで強調

【株式価値の算定】

1. 株式評価モデル
 - ・インカムアプローチ: 将来キャッシュフローの割引現在価値として株価を算定する方法
 - ・マーケットアプローチ: 類似企業や業界全体の指標を基準として株価を算定する方法
2. インカムアプローチ
 - (1) 配当割引モデル — 一般モデル
 - ・将来配当を株主資本コストで割り引いた現在価値として株価を算定するモデル
 - ・毎期末の配当を D_t 、株主資本コストを k とすると株価 P は、

$$P = \frac{D_1}{1+k} + \frac{D_2}{(1+k)^2} + \dots + \frac{D_t}{(1+k)^t} + \dots$$
 - (2) 配当割引モデル — ゼロ成長モデルと定率成長モデル
 - ・ゼロ成長モデル: 毎期の配当が一定 (D) で、期末に全額配当するモデル
 - ・定率成長モデル: 毎期の配当が一定率 (g) で成長するモデル
- (3) 内部金融モデル
 - ・定率成長モデルにおける配当成長率 (g) は内部留保の再投資がもたらすとする捉え方
 - ・サステイナブル成長率: 内部留保を利用した投資で達成可能な配当成長率 (= 利益成長率)

サステイナブル成長率 (g) = (1 - 配当性向) × ROE (再投資利益率)

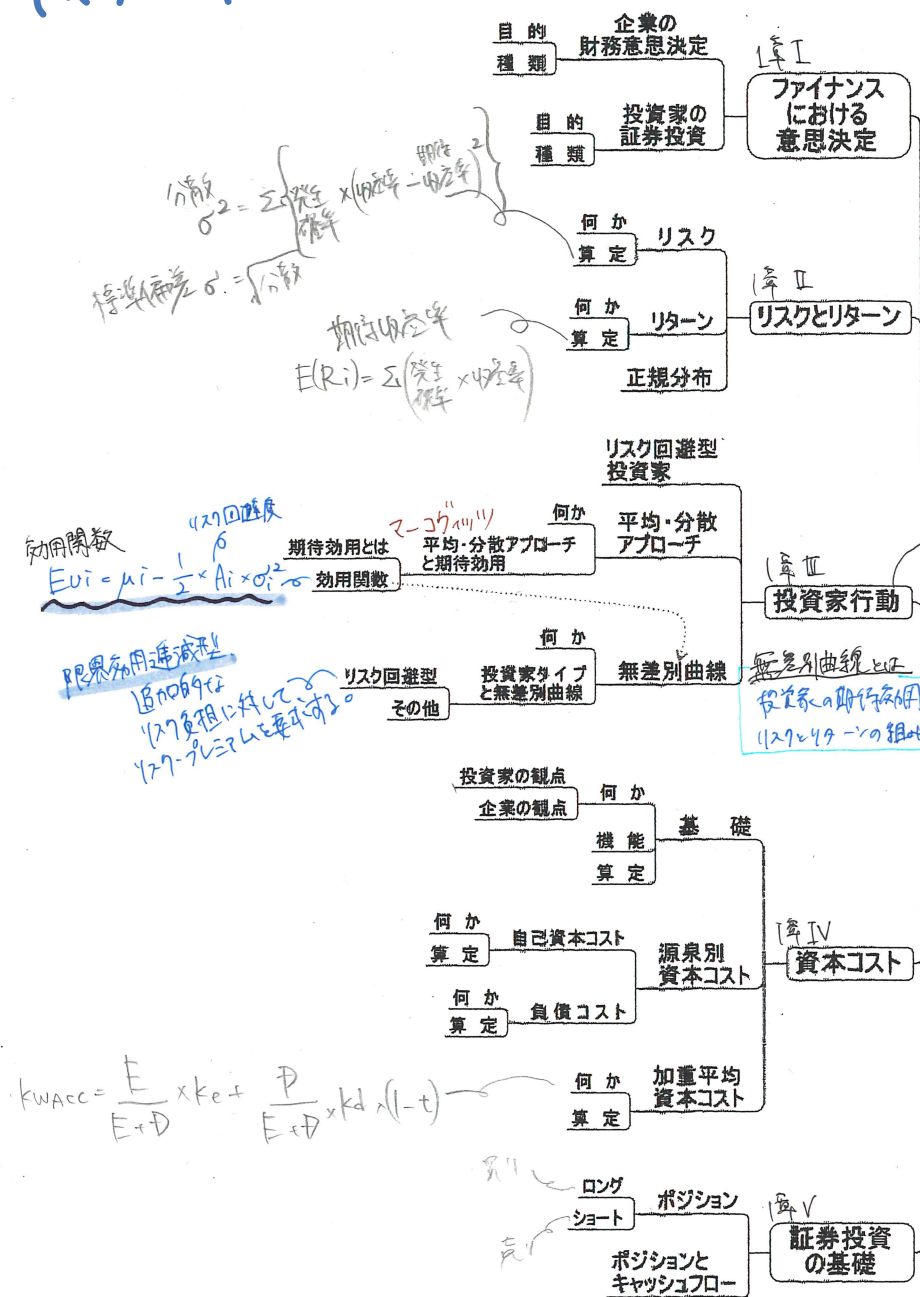
- ・ROEと資本コストとの関係で株価が変化
 - ① ROE > 資本コストの場合 ⇒ 内部留保 (再投資額) 増やすと株価上昇
 - ② ROE < 資本コストの場合 ⇒ 内部留保 (再投資額) 増やすと株価下落

- 3. マーケットアプローチ
- ・マーケットアプローチで活用される代表的な指標は以下の通り

指標	計算式	意味
PER (株価収益率)	株価 / 1株当たり利益 (EPS)	現在株価が直近のEPSの何倍になっているかを表す。業界平均値と比較して株価が割安か割高かを判断
PBR (株価純資産倍率)	株価 / 1株当たり純資産 (BPS)	現在株価が企業の純数値 (BPS) の何倍かを表す。業界平均値と比較して株価が割安か割高かを判断
PCFR (株価キャッシュフロー倍率)	株価 / 1株当たりキャッシュフロー	現在株価が1株当たりキャッシュフローの何倍かを表す。業界平均値と比較して株価が割安か割高かを判断

※ ファイナンス部分(全10回4枚)

戦略・組織論部分全7回ほど6枚



効用関数 $E(u) = \mu - \frac{1}{2} \times \sigma^2$

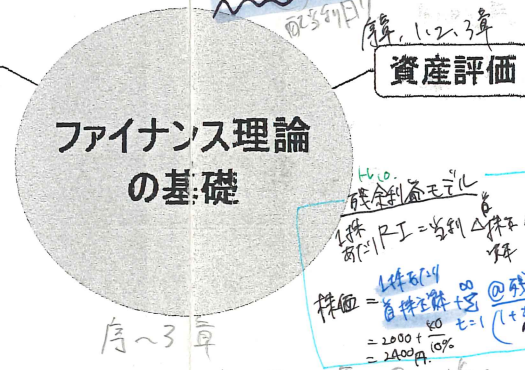
$k_{WACC} = \frac{E}{E+D} \times k_e + \frac{D}{E+D} \times k_d \times (1-t)$

解の公式
 $ax^2 + bx + c = 0$
 $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$

リスク回避型投資家は、危険な資産よりも、期待効用と期待リターンが同じであれば、より安全な資産を選ぶ。

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

ポートフォリオ投資



EPS成長率 = 株主成長率 = 企業成長率

割引率 = 期待収益率(要求利回り, 資本コスト)

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

ポートフォリオ投資

正定成長モデルの株主価値

割引率 = 期待収益率(要求利回り, 資本コスト)

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

PERの1倍は、EPSの1倍。EPSの1倍は、PERの1倍。

*直前期は毎日2章分公式を使って3~5問ずつ、章末問題もしくは問題集レベル1。

マインドマップは使わなくてもOK



③ 1年 経営戦略論 I

人名がヒントとして問題文で与えられるため、セットでおさえる。

[参考] 経営学公式一覧.

* 直前期は毎日2章分公式を使って3~5問の
章末問題もしくは問題集レベル1. p.20

1章 モン知識

$$ax^2+bx+c=0$$
$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

$$k_{WACC} = \frac{E}{E+D} \times k_e + \frac{D}{E+D} \times k_D \times (1-t)$$

2章 株式価値の算定

$$P_0 = \frac{D_1}{k_e - g} \rightarrow k_e = \frac{D_1}{P_0} + g$$

$$\text{株価} = \frac{CM}{k} \Delta \frac{FC}{RF}$$

$$P = \text{首利} + \sum_{t=1}^{\infty} \frac{RL_t}{(1+r)^t}$$

①

3章 企業価値の算定

$$EBITDA = \text{営業利益} + \text{減価償却} + \text{Amo}$$

$$FCF \text{法 } V = \frac{FCF}{1+WACC} + \dots$$

$$APV \text{法 } V = \text{自己資本100\%の価値} + \text{純粋効果}$$

4章 企業価値の最適資本構成

$$ROE = ROA + (ROA - k_D) \times \frac{B}{S}$$

MM理論 $V_U = V_L$
 $k_L = k_U + (k_U - k_D) \times \frac{B}{S}$

例 $V_L = V_U + tB$
 $k_L = k_U + (k_U - k_D) \times \frac{B}{S} \times (1-t)$
 $k_{WACC} = k_U \times (1 - \frac{B}{S+B} \times t)$

$$WACC = L \times a\% + L \times (1-t) \times a\%$$

5章 ペアレント政策

$$\text{負債元性向} = \frac{\text{配当} + \text{配当取得}}{\text{金利}}$$

$$\text{自己資本配当率} = ROE \times \text{負債元性向}$$

6章 最適ポートフォリオ

$$E(R_p) = a \cdot E(R_A) + b \cdot E(R_B)$$

$$\sigma_p = \sqrt{a^2 \sigma_A^2 + b^2 \sigma_B^2 + 2a \cdot b \cdot \rho_{AB} \cdot \sigma_A \cdot \sigma_B}$$

$$\sigma_{AB} = \rho_{AB} \times \sigma_A \times \sigma_B$$

$$\rho_{AB} = \frac{\sigma_{AB}}{\sigma_A \times \sigma_B}$$

7章 CML, CAPM

資本市場線 CML

$$E(R_p) = R_f + \frac{E(R_M) - R_f}{\sigma_M} \times \sigma_p$$

CAPM

$$E(R_i) = R_f + \beta_i \{E(R_M) - R_f\}$$

$$\beta_i = \frac{\sigma_{iM}}{\sigma_M^2} = \frac{\rho_{iM} \times \sigma_i}{\sigma_M}$$

$$\beta_L = \left\{ 1 + (1-t) \times \frac{D}{E} \right\} \beta_U$$

②

8章 収益の期待値とリスクの期待値

$$\theta_S = \frac{R_S - R_f}{\sigma_S}$$

$$\theta_L = \frac{R_L - R_f}{\sigma_L}$$

$$\theta_S = R_f - \left[R_f + \beta_S \{E(R_M) - R_f\} \right]$$

9章 債券投資

$$PVAC = \frac{1}{P} \left\{ \frac{C}{1+r} + \frac{2C}{(1+r)^2} + \dots + \frac{n \cdot (100+C)}{(1+r)^n} \right\}$$

$$D_S = \frac{1}{1+r} \left\{ \dots \right\}$$

$$D_{MOD} = \frac{1}{1+r} \times \frac{1}{P} \times \left\{ \dots \right\}$$

$$\frac{dP}{P} = - \frac{1}{1+r} \times \frac{1}{P} \times \left\{ \dots \right\} \times dt$$

10章 割引率の算定、スプレッドの算定

$$\text{先物 } F_{0t} = S_0 (1+r_{0t})$$

$$\text{証拠金 } F_{0t} = S_0 (1+r_{0t}) - D_0 \left(\frac{1+r_{0t}}{1+r_{0e}} \right)$$

$$S_{0t} = S_0 - F_{0t} + F_{0t}$$

11章 割引率の算定、スプレッドの算定

$$C + \frac{K}{1+r} = P + S$$

$$\Delta C = \Delta S + \Delta Y$$

$$C_u = \Delta C_u S + Y(1+r)$$

$$Y = \frac{d \cdot C_u + a \cdot C_d}{(1+r)(C_u - C_d)}$$

$$C = \frac{1}{1+r} \left\{ \frac{(1+r) - d}{u-d} \times C_u + \frac{u - (1+r)}{u-d} \times C_d \right\}$$

$$P = \frac{(1+r) - d}{u-d} \times C_u + \frac{u - (1+r)}{u-d} \times C_d$$

$$\Delta = \frac{C_u - C_d}{u - d}$$

18:30 ~ 19:30 【第5部】 5月・8月に向けて (前半…ボーダー付近の方、後半…65%未満の方)

→ 藤野【財務計算】・小野【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】

18時30分ー19時30分

【第5部】5月・8月に向けて

主に前半…ボーダー付近の方、後半…65%未満の方

ex 計上区分?

本試験の振り返り

Q1/9.

今回、TACのデータリサーチでは65.4%。他校のものでは66.4%という結果となり、5月→8月という覚悟で勉強をしようとしてもなかなか手につきません。

しかし、点数が伸びなかった原因は財務計算、理論にあるため、早急に手当が必要だと認識しています。特に計算面で、どのような対策が良いのでしょうか。答練では毎回6割~7割取られていて特に苦手意識はなかったです。

この論点がすごく苦手、というのも特になく、当日までのメンテナンステキ不足と、本試験の緊張とで起ったミスに原因があると自分なりに分析しています。

ミスに関しては、これまでの勉強で起こったものはテキストと論点チェックリストに一元化して、しやすいミスは覚えるようにしていました。

緊張から来るミスは、普段したことがないミスでも、自分がそのようなミスをすることがある、と認識するしかないのでしょうか。それとも、どこかに理解の穴があると考えて、もう一度しっかりテコ入れをし直した方がいいのでしょうか。

ex. 答練を本試験と思ってアリエ-授業で 当日のリズム、食事。

Q2/9. 12月の短答式試験を終えてからモチベーションを保つのが難しく、かなり勉強量が落ちていて不安です。

・ 単位取得

ボーダー付近…勉強のペースを落とす。ex テキスト。見直し。

Q3/9. 今論文に向けて勉強してるのですが、租税、経営の受講と復習、財務計算の復習をしていると、理論の勉強が疎かになっています。この時期、計算と理論はどのくらいの比率で勉強すべきなのでしょうか?

ex.

■ インプット不足・アウトプット練習不足・メンテナンスで足りる段階など、現在の進捗によって異なります。計算が短答合格レベルであれば、メンテナンス/論文形式に慣れることを目的として、実際に解くのは2日に1度程度でも足りると考えられます。

■ 財理は短答論文共に一番重要なので、毎日30分×3~6セット程取り組んでもokです。

財務計算と同じ論点について、理論の復習も行くと効果的です。

■ 経営の復習は、まとまった時間を取るよりも、講義直後に公式を見ながら20-30分とするなど、短い時間でこまめに取り組みましょう。

■ 監査論は論文問題集のポイントやテキストゴシックをまず説明できるように、毎日5~15分朝晩などで確保するとよいと思います。テキスト目次はこまめに見て、論点を思い出しましょう。

■ 企業法も、まとまった時間はあまり取りにくいので、毎日15~30分、数日に一度1~2時間テキストの理解確認として取るのもよいと思います。他の科目に比べてインプットが大幅に不足しているなら、一時的に多めに充てましょう。

Q4/9.

これまでは講義があって、それに沿って学習できていたのですが、これからどのようなペースで勉強していけばいいか、ペースメーカーがなく不安です。どのように学習を進めていったらいいですか。

12月はかなり勤が当たっての60%程度でした。これから論文対策も始まるなかで、短答と論文の学習の比率はどのくらいにしたらよいでしょうか。大学生なので2,3月は時間はかなり取れるのですが、8月論文は諦めなくてもいいですか。

↓

まず、自力でどこまでを獲得できたのか、テキストを見ながら解けるのかなど、現在の状況を確認しましょう。

3月まで 範囲1

Q5/9.

財務の計算で質問です。テキスト⑧後半、⑨⑩の計算がまだ完璧ではありません。論文に向けて、ここはしっかり身につけた方がいいところがありましたら、教えて頂きたいです。

主に8章〜。
テキスト⑧ 1~4章 must. 6.8章, 次7章 45% 採点 被結合企業へ移
⑧後半CF出る!! ⑨CF ⑩CF (同接原則) は3回し. この1で出さる. 小計問は下は 取りたい.
(5章 対価 mix) (その1で出さる)

Q6/9.

58を目指すにあたり、理論科目の論文対策は具体的にいつ頃始めればよいでしょうか？

↓
年明けの論文答練の日程・範囲を参考にして、少しずつ開始しましょう。

ex.

監査論 論文対策問題集2・3ページ

財務理論 テキスト10ページ〜15ページ分析

企業法 テキスト太枠確認

Q7/9.

財務計算の学習方針に関する相談です。

普段の答練ではある程度全科目バランスよく取れ、総得点も毎回上位20-30%でしたが、本試験では財務計算(と管理理論)で正答率の高いA-B問題を複数落として2科目でdr平均を下回り、総得点率が65%でした。

財務計算を解き直すと、30点分程度、解説がなくとも正答に辿り着け、ミスの理由を探ると読み飛ばしや焦って普段と違う回答プロセスを踏んだことが原因のようでした。

元々普段の答練でも同様のミスをする傾向がありまして、1度集計して合わずに計算し直して当てることなども頻繁にあり、日頃から悩んでいたことでした。

今後改善行動をするに当たり、そもそもの基礎知識不足なのか、演習量不足なのか、見直しのルーティン作りが甘いのか、もっと根本的なことなのか分からず対策に悩んでいます。今回の本試験の詳細分析

もう2度と同じ失敗をしたくありません。何をすればこのようなミスが減らしていけるか、ヒントをいただきたいです。

↓

インプット不足がないかテキスト・トレーニングをさらう以外に、改善策として以下が考えられます。

- 時間配分・取捨選択練習(焦って解かず済む)
- 読み飛ばしミスの対策(チェックを振る、指差し確認など)
- 本試験を想定した練習(アウエー校舎で受けるなど)

読み飛ばしや計算ミスは、論文形式で、選択肢のない問題に取り組むことで減る可能性も高いです。

「計算力」

- ・ インプット ... 講義 ^{トレーニング・アクセスなどでよくあるひっかけを知る}
テキスト ^{テキストや論点チェックリストへ} 例題 ミス一元化

- ・ 事前準備 ... メンテナンス ^{2週間以内など} 網羅性 ^{のテキスト}
正確性・スピード

ex. <直前期>

直近3・4週間で解き込んでいない。
ごく易い問題を1日1問. など過去問「易」,
基礎答練など

- ・ アウトプット ... 時間配分 取捨選択 <sup>今~3月末なら
ペーパー・筆記テスト、
論文アクセスなどで
集計力もアップ</sup>
 ・ 正確性 (やらかしミス対策)
 ・ スピード (処理を思い出す速さ) ~~電卓の速さ~~
 ・ 応用力 ... 理論テキスト

残った時間で
Bに取り組み。
仮説を立てて解く力。* 過去問集は
「易」を中心に
目を通しておく
(反復は不要)

計算 やらかしミスの原因と対策例

原因	対策例
①下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。月割計算がある論点は特に注意。
②資料の読み飛ばし	マーカーや色ペンを使いながら読む(短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能)。 ✓マークを資料左側に付す。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は気持ちゆっくり1・2度だけ電卓を入れるなど。
⑤電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。 電卓は体の近くで打つ。
⑥電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑦年度・決算日、税率、単位・四捨五入、償還日・事業供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む(問題用紙には使用可能)。事前に計算論点チェックリスト(webschool→「教材」)や、ミスを振り返る。
⑧指示をチェックしたが、解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

Q8/9. 12月短答がダメで、5→8月に向けて勉強を再開した状況です。

12月に向けて答練やアクセスを一通り受けたのですが、一元化まで出来ずに本試験を迎えてしまいました。

5月を受ける上で、復習と平行してテキストに一元化をしようと考えているのですが、重要度や出題可能性を無視して一元化して大丈夫でしょうか？

アクセス(理論も含め)は、汎用性があるから一元化して大丈夫だと思ったのですが、基礎答練や直前、全国模試は、12月短答の試験委員の出題予想も含まれていると思ったので一元化すると5月短答に支障が出てしまうのかなと思ってしまい一元化すべきか悩んでおります。どうすればよろしいでしょうか？

↓

アクセス以外の答練についても、テキストへの一元化を進めて大丈夫です。

全て書き込むと読みにくくなるため、マークの反映程度にとどめて、章ごとにファイリングしておいて見たくなったら確認できる状態にしましょう。

ex 企 ... 同 → 六五

Q9/9.

理論科目全般で質問です。特に監査論や財務理論に多いのですが、短答式試験の過去問や答練で復習をする際に、テキストに載っていない内容があり、テキストから探す時間等でかなり時間がかかってしまいます。

一度出会った問題は二度目から間違えないようテキストに集約しているのですが、少し細かくやりすぎている気もします。

重要度を加味して見たこともない内容は飛ばすなどすべきなのか、細かくやっていくべきか復習の工夫やアドバイスをお聞きしたいです。よろしくお願いします。

↓

A.

全て書き込むと読みにくくなるため、マークの反映程度にとどめて、章ごとにファイリングしておいて見たくなったら確認できる状態にしましょう。

12/14(土) 短答後HR
配布レジメから →

水丸シールは、
短答答練と論文答練とで
色を分ける。 キー1 論文 アキ4 短答

2. 大学生Dさんの場合(2018年合格)
2017年12月×→2018年5月○, 8月○

監査論
テキストに一元化したかったので、短答に関するものは青、論文は赤と分けてマーカーしていました。また、答練で間違えたところや重要そうなポイントは、答練の回数(全国模試2回目なら「全2」)を書いて適宜メモったり、シールを貼ったりなどしていました。

【第6部】社会人受験生／その他なんでもQ&A

社会人受験生の方から

Q1/4.社会人受験生の場合に、限られた時間の中での計算との付き合い方全般についてアドバイスをいただきたいです。

勉強慣れしていない頃は基礎講義に追いつけず、上級期は理論学習がメインになり、Wチャンス本科生に至って勉強ルーティンが出来てきたものの、計算をすると理論の勉強時間がなくなるので、結果として計算に対する不安を抱えたまま学習開始から2年半経過しました。今後の論文対策では租税や経営の分も計算が増えますが、在職中限られた時間で計算と上手く付き合えるか不安です。

↓

社会人受験生の方の場合には、計算科目は普段からミスの一元化を進め、実際に解くメンテナンスが毎日30分ほどで足りるように下準備することと、直前期には隙間時間を活用して全科目毎日触れることがポイントです。

ex.直前期は租税は30分～1時間ほど、経営は15～30分ほどを毎日取り組むなど

ex.

金杉さん. 解き方も思い出すやり方を併用 @ 空き時間.

19:30 ~ 20:30 【第6部】社会人受験生／その他なんでもQ&A

→ 小野【財務計算】・金杉【財務計算】・平林【財務理論/学習相談】・相澤【就職サポート】

Q.2/4【23目標】

社会人受験生（通信）です。これまで、受講→テキスト例題→トレーニング→ミニテストの順で復習をしています。復習においては、問題を繰り返し解くことが大事かと思いますが、テキスト例題とトレーニングの問題を何度も解こうと思うと、どうしても追いつかず、受講スケジュールから遅れてしまいます。

繰り返し解く問題をテキスト例題かトレーニングに絞るとすれば、どちらが良いでしょうか？それとも、1周だけでも、どちらもするべきでしょうか？

今遅れている分は、年末年始で追いつくつもりですが、それ以降の復習方法について、何かアドバイスをいただければと思います。よろしくお願いします。

強弱.

Q3/4.

社会人受験のため、可能であれば講義日程をもっと早く出して頂きたいです。たとえば、曜日が分かるだけでも仕事の調整等できることもあるため、ありがたいです。

今であれば、来年から始まる財務理論や監査論の日程を早く知りたいなと思っています。

Q4/4.

社会人受験生の場合に、論文対策期の1日の学習モデル(4-5h/日を使える場合)は大体どのようなになるか一例をいただきたいです。

↓

参考までに、

3月頃までと、論文直前期(ラスト1ヶ月ほど)の時間配分例を共有します。

[参考] 論文専攻の場合 1日のスケジュール例

Point

- ・今の時期は毎日全科目でなくても、インプット確認のためにじっくり時間をかける日があってもよい。
- ・勉強時間数よりも、講義後の復習サイクル、取り組む論点や内容・頻度を目標とする。
- ・財務計算・租税計算・財務理論の自習は基本的には毎日。他の科目も2・3日に1度は取り組む。
- ・一般的には、午前中が一番集中力が高く、夕方頃にもう一度上がり、徐々に下がっていく。
- ・週に半日～1日バッファを設ける。
- ・前に進んでいる感覚を大事にする。

<社会人受験生のスケジュール例>

平日（夜型）

6時頃～7時半	起床・財務計算又は租税計算、財務理論
電車	理論科目のテキストなど
9時半～17時半	仕事（隙間時間や昼休憩時に前日の復習など）
電車	理論科目のテキスト・企業法問題集、計算下書きなど
18時半～22時半	答練受験・講義受講・復習など
23時半～24時	一日の振り返り・就寝

平日（朝型）

5時～5時半	起床・財務計算又は租税計算、財務理論
～7時半	答練受験・復習
電車	理論科目のテキスト・企業法問題集、計算下書きなど
9時半～17時半	仕事（隙間時間や昼休憩時に前日の復習など）
電車	理論科目のテキスト・監査論暗記、計算下書きなど
18時半～21時半	朝の続き・もう少し進めたい科目・講義受講
～22時	一日の振り返り・就寝

土日

7時～8時半	起床・財務計算又は租税計算、財務理論
～9時	財務理論　じっくり読み（軽く朝食）
～12時	財務・管理・租税の計算復習
～13時	昼食（軽く企業法・監査論）・散歩・仮眠15分
13時～15時半	答練受験かその日のメイン科目 （集中が途切れたら他の科目を挟んだり、経営計算、家事など）
15時半～18時	答練受験かその日のサブ科目
18時～18時半	散歩・ランニング・夕食など
18時半～21時	答練受験かもう少し進めたい科目又はリラックスタイム（計算テキスト1冊パラ見など）
23時半～24時	一日の振り返り・就寝

<大学生のスケジュール例>

7時半～8時半	起床・財務計算又は租税計算、財務理論
～9時	軽めの朝食
～9時半	財務理論　じっくり読み
～12時	財務計算・管理・租税
～13時	昼食（軽く企業法・監査論）・散歩・仮眠15分
～15時	大学講義
～18時	その日のメイン科目
～19時半	夕食
～21時半	大学の課題orもう少し進めたい科目又はリラックス
23時～24時	一日の振り返り・計算テキストパラ見・就寝

<学習専念生（TAC通学生）のスケジュール例>

7時～8時半	起床・財務計算又は租税計算、財務理論
電車	リラックスタイム又は企業法・監査論
～9時半	財務理論　じっくり読み
～12時半	財務計算、租税計算
～13時	昼食（軽く企業法・監査論）・散歩・仮眠15分
13時～15時半	答練受験又はその日のメイン科目 （眠くなったら経営計算30分など）
15時半～18時	その日のサブ科目
～19時	夕食・散歩
～21時45分	答練受験又はもう少し進めたい科目又は帰宅してリラックスタイム
22時半～23時半	一日の振り返り・計算テキストパラ見・就寝

[参考] 論文専攻の場合 1日のスケジュール例 5/30(月)～7月頃

Point

- ・ **租税・財務理論・経営計算**は必ず毎日。暗記すべきものは隙間時間にこまめにチェック。
- ・ 全分野 7～14日以内には1周を繰り返す（**財務理論は5～7日以内、暗記箇所はふせんを貼って毎日など**）。
- ・ 暗記のためには、**就寝前・起きた直後・日中など**、こまめに確認。**暗記定着のためにも睡眠は必須。**
- ・ 勉強時間数よりも、**取り組む論点や内容・頻度**を目標とする。
- ・ 週に半日～1日バッファを設ける。
- ・ 一般的には、午前中が一番集中力が高く、夕方頃にもう一度上がり、徐々に下がっていく。
- ・ **前に進んでいる感覚を大事にする。**

<社会人受験生のスケジュール例>

平日（夜型）

6時頃～7時半	起床・前日の暗記事項確認・計算メンテ
電車	暗記事項確認など
9時半～17時半	仕事（隙間時間や昼休憩時に暗記事項確認など）
電車	理論科目の暗記事項確認など
18時半～22時半	答練受講・復習など
23時半～24時	一日の振り返り・暗記事項確認・就寝

平日（朝型）

4時～5時半	起床・前日の暗記事項確認・計算メンテ
～7時	答練受講・復習など
電車	理論科目の暗記事項確認など
9時半～17時半	仕事（隙間時間や昼休憩時に暗記事項確認など）
電車	理論科目の暗記事項確認など
18時半～20時半	朝の続き・もう少し進めたい科目
～21時	一日の振り返り・暗記事項確認・就寝

土日

7時～8時半	起床・前日の暗記事項確認
～9時	財務・管理計算メンテ
～9時半	財務理論
～11時半	租税法
～13時	財務理論
～13時半	昼食（企業法）・散歩・仮眠15分
～15時半	答練受験
15時半～17時	経営計算、財務理論、監査論
17時～18時	散歩・ランニング・夕食など
18時～21時	答練受験
22時～24時	暗記事項確認・計算テキスト1冊バラ見・リラックスタイム・一日の振り返り・就寝

<大学生のスケジュール例>

7時半～8時半	起床・前日の暗記事項確認・財務計算メンテ
～9時半	管理計算メンテ・テキスト
～9時半	財務理論
～12時	租税法
12時～13時	昼食（企業法）・仮眠15分
13時～13時半	経営学計算
13時半～14時	財務理論
14時～17時	答練受験
17時～18時半	夕食・散歩
～20時半	大学の課題・講義orもう少し進めたい科目
20時半～22時	リラックスタイム・計算テキスト1冊バラ見
～24時	一日の振り返り・暗記事項確認・就寝

<学習専念生（TAC通学生）のスケジュール例>

7時～8時	起床・前日の暗記事項確認
電車	暗記事項確認
～9時	財務計算メンテ
～9時半	財務理論
～10時	管理計算メンテ
～12時	租税法
～13時	軽めの昼食（企業法）・散歩
～13時半	経営計算
～14時	財務理論
～17時	答練受験
～18時半	軽めの夕食・散歩
18時45分～21時45分	答練受講・復習
電車	暗記事項確認・一日の振り返り
22時半～23時半	リラックスタイム・暗記事項確認・就寝

[参考] 論文専攻の場合 1日のスケジュール例

特にLast 3週間ほど

直前期によくいただく質問

- Q.社会人受験生のスケジュールが知りたいです。
Q.財務計算と管理計算が毎日後回しにしてしまい、力が下がってきています。
Q.科目が多すぎて、いつ何をやればよいか、ずっと手探りで不安です。

Point

- 暗記事項は、睡眠前後に確認したり、一日の中でも頻度を上げると定着しやすい。
- 暗記事項の回転頻度を確保した上で、余った時間で気になる論点はじっくり読む。**
- 集中できていなくても取り組む。ページをめくる。
- 全科目毎日触れる。 **監査論と企業法のテキストと確認や、財務・管計が得意な場合は2日でバランスを取るのも有り。**
- 一般的には、午前中が一番集中力が高く、夕方頃にもう一度上がり、徐々に下がっていく。

暗記は毎日。

注：以下はあくまで一例です。置かれている状況・環境や各科目の学習進度（インプット・理解・維持など）で異なります。

<社会人受験生のスケジュール例>

平日（夜型）

6時頃～7時半 起床・前日の暗記事項確認・計算メンテ
電車 暗記事項確認など
9時半～17時半 仕事（隙間時間や昼休憩時に暗記事項確認など）
電車 理論科目の暗記事項確認など
18時半～22時半 もう少し進めたい科目
23時半～24時 一日の振り返り・暗記事項確認
就寝

平日（朝型）

4時～5時半 起床・前日の暗記事項確認・計算メンテ
～7時 答練受講・復習など
電車 理論科目の暗記事項確認など
9時半～17時半 仕事（隙間時間や昼休憩時に暗記事項確認など）
電車 理論科目の暗記事項確認など
18時半～20時半 朝の続き・もう少し進めたい科目
～21時 一日の振り返り・暗記事項確認
就寝

土日

7時～8時半 起床・前日の暗記事項確認（経営理論単語・監査論論文問題集・管理理論）
～9時 財務・管理計算メンテ
～9時半 財務理論
～11時半 租税法…法人税50分 所得税30分 消費税10分 理論30分（答練解き直し15分、要約条文通読15分）
～12時 財務理論
～13時 昼食（企業法）・散歩・仮眠15分
～15時 経営計算・財務理論・監査論・企業法30分ずつ
～17時 経営計算・財務理論・監査論・企業法30分ずつ
17時～20時 散歩・監査論専門用語など暗証しながらランニング・夕食など
18時～20時 日中もう少し進めたかった科目
20時～22時 暗記事項確認・計算テキスト1冊パラ見
22時～24時 リラックスタイム・一日の振り返り・就寝

<大学生のスケジュール例>

7時半～8時半 起床・前日の暗記事項確認
～10時 財務・管理計算メンテ
～10時半 財務理論
～12時 租税法
12時～13時 昼食（企業法）・仮眠15分
13時～13時半 経営学計算
13時半～15時 財務理論・監査論・企業法30分ずつ
15時～18時 大学リアルタイム講義
18時～19時 夕食・散歩
～21時半 もう少し進めたい科目
～22時 暗記事項確認・計算テキスト1冊パラ見
～24時 リラックスタイム・一日の振り返り
暗記事項確認・就寝

<学習専念生（TAC通学生）のスケジュール例>

7時～8時 起床・前日の暗記事項確認
電車 暗記事項確認
～10時 財務・管理計算メンテ
～10時半 財務理論
～12時 租税法
～13時 昼食（企業法）・散歩しながら暗記
～13時半 仮眠15分
～17時 経営学計算
～17時半 財務理論・監査論・企業法20-30分ずつ繰り返す
～18時 軽めの夕食 散歩しながら暗記
18時～20時 もう少し進めたい科目
電車 暗記事項確認・一日の振り返り
22時～23時半 リラックスタイム・暗記事項確認・就寝

その他何でも質問

Q1/7.

財務、管理の計算の論文で出題可能性が高い分野で短答の出題可能性が低い論点の一部切っていた論点があります。

また、企業法と監査論の典型論点のインプットにも不安があります。租税、経営も新しい知識をインプットしなければいけないという状態で、優先順位ってどの科目からになりますか？

Q2/7.

財理、租税法

論文対策講義が前倒して送付されましたが、講義配信を待たずに受けて差し支えないでしょうか。

↓

受けても大丈夫ですが、解いた直後に解説講義を視聴する方が、問題文を読んでいる際の思考プロセスの修正ができるため効果的です。

Q3/7.

財務理論の論文対策は前回セミナーであまり言及がなかった気がするのですが、短答前から変わらない学習スタイルでよいでしょうか。

論文問題はテキストに反映済で、テキストのメモから論旨を思い出す練習をしていました。

↓

はい、12/14(火)ホームルーム後半で説明している理屈の強調/パーツ分け/余白にナンバリング/一言でいうと？などの下準備を既に行っている場合には、「想起」の段階をどんどん進めていきましょう。

Q4/7.

法令基準集についての質問です。まだ次回の論文(令和4年度)のものが販売されていないようなのですが、その購入可能時期より先に基礎答練が始まりそうです。

基礎答練前に令和3年度の物を手に入れておくべきなのか、あるいは最新の物の販売まで待ってもよいのか教えていただきたいです。(同様の質問数件)

また、法令基準集について、大蔵財務協会のものと、監査審査会のものはどのような違いがあるのでしょうか？

↓

4月までの答練は、基準集がなくても解答可能です。

会計学…暗記の負担を減らすため、令和2年度版などでもよいので早めに入手しておきたいです(4月、本試験受験番号と引き換えで、会計学基準集のみ最新版をTACからプレゼントする見込みです。)

企業法…当初は六法を使って受験してもよいですが、2月に最新版が出たら買います。

監査論…2月に最新版が出たら買います。

大蔵財務協会(市販)と本試験で配付される監査審査会発行の基準集は、特段見栄えや内容共に違いはありません。

稀に、3/31など市販の基準集発行後に新しい基準が公布され、試験範囲に追加される場合には、大蔵財務協会HPで追補版が配付されます。

★ 財理 法令基準集の使い方は、

短答後HR 配布レジュメ「8月論文合格

暗記の負担を減らすため、

前の年度の版でもよいので早めに入手。

に向けて」
P.18以降参照

特にリース、金融商品、収益認識

参考：会計学「論文式試験 参考法令基準集」の使い方

(1) 載っているもの(論文で暗記不要)
■ 見出し横に「～基準」と表示されている論点の、具体的な処理方法や適用要件
■ 各会計基準の前半部分(項番号が小さいものは載っている(後半の理屈部分は載っていない))。

Ex) 引当金の4要件(企業会計原則 注)
ファイナンス・リース取引の定義、ヘッジ会計の意義
金融資産の消滅の認識、支配の移転3要件
金利スワップの特例処理の適用要件
連結の範囲、支配力基準
分離完全企業・連結完全企業の株主の処理
キャッシュ・フロー計算書 資金の範囲

(2) 載っていないもの(覚える必要がある)
■ 各会計基準の後半部分にある「結論の背景」といって理屈部分(項番号が大きいものは、論文式試験では参照できないように「xx-xxx項」などと表示され配付される。

処理は基本的には載っている。
理屈部分を説明できよう意識。

最初は
「どんなページだったか？」
程度でOK.

✧ テキストの見出しで足りる時は不要.

理屈の分解

登記理由

①

②

③

イメージができるか？
誰かに説明できるか？

ᄃᆞᆯ

一、采商要、

キーワードが

1424-3

…自習時に理屈部分

—…自習時に理屈部分 **パーツの**
を分析した際の手書き **個数とか**

…自習時にフランスした

(Tk) ... 解答式確認問題

Ex: $h^{\alpha} = 10^{-14} \text{ s}$

なせテキストで

この2つの場合、 $\frac{1}{2}$ が正しいか？

無いと論理飛躍

図所を に移すのか？

今試問大よこし

さらに詳しく

「設計原則」の一般原則等

使ったように

損益計算書原則及び貸借対照表原則、並びにその他の会
によって確保される。

④ 配当金は、この条件を充足することによって認められない。

② ①の「その他資本剰余金」を原資とした配当が認められている
③ 剰余金の区別は要請されていない。
④ 重要性が乏しい場合を除き、その内容及び金額を注記する

時に定める注記のほか、利害関係人が会社の財政状態、経営者の状況に関する適正な判断を行うために必要と認めらるる事項を注記しなければならないとされている。

な影響を及ぼす事象が発生したときは、当該事象を注記し

章扉

6. 毎日3章分など
こまめに活用

[illegible][illegible]

ざっくり説明できるか？

第11章 研究開発費等

- 01. 「研究開発基準」が必要とされた理由を述べなさい (p. 98)。
 □□□□ 02. 研究開発費の会計処理として、資産計上法や条件付資産計上法ではなく、費用処理法が採用されている理由を説明しなさい (p. 99)。

なぜ否定されるかを
意識してテキスト分析。

II. 研究開発費に係る会計処理

処理の結論

ピンクマーカ

脚注の処理

1. 会計処理 (「研究開発意見書」三2, 「研究開発基準」三, 注2, 「研究開発指針」4) ☆☆☆

重要な投資情報である研究開発費については、企業間の比較可能性を担保することが必要であり、費用処理又は資産計上を任意とする会計処理は適当でない。

将来の収益獲得を目的とする研究開発費の会計処理方法としては、まず、将来獲得される収益と対応させるために、すべて資産計上する方法 (資産計上法) が考えられる。しかし、研究開発費は、発生時には将来の収益を獲得できるか否か不明であり、また、研究開発計画が進行し、将来の収益の獲得期待が高まったとしても、依然としてその獲得が確実とはいえない。そのため、研究開発費をすべて資産計上した場合には、損失の繰延べとなるおそれがある。次に、一定の要件を満たす (将来の収益との対応が確実と思われる) 研究開発費について資産計上を強制する方法 (条件付資産計上法) も考えられるが、この方法による場合には資産計上の要件を定める必要がある。しかし、実務上客観的に判断可能な要件を規定することは困難であり、抽象的な要件のもとで資産計上を求めることとした場合には、企業間の比較可能性が損なわれるおそれがある。このような検討の結果、研究開発費は、すべて発生時に費用処理する (費用処理法) こととされた。

① 資法
なぜ×か
②
③

① 条法
なぜ×か
②
③
④

もしも仮にQ2のまま出されたとしたら

テキストのピンクマーカのキーワードをできるだけ使って説明

「そのため、本問のような扱いとされた」
又は

「そのため、資や条ではなく費が採用されて

① ① 骨組みの
② ② 個数を
③ ③ 思い出して
④ ④
まずは1つだけでも (~3月末)
損失のべ
パーツごとに1つ以上
発生・進行
細かい文言まで
分析・納得して精査アツ

Q5/7.

論文式試験に向けて、試験範囲外の分野(いわゆる短答論点)があるかと思います。それがどこなのかあまりよくわかっていないのですが、どのように把握すればよいのでしょうか

↓

公認会計士監査審査会HPで、論文重点出題項目が公表されています。

「試験範囲」ではなく、あくまで「重点」出題項目が示されているに過ぎないことに注意しましょう。特に、**財務会計・理論・管理会計**については全範囲から出題されると考え、「強弱」を付ける程度に参考にしましょう。

Q6/7.

ハローワークで働く友人から「税理士講座なら就労支援の一環で経済的負担を減らして予備校で勉強できる場合があるけど、会計士講座への就労支援は見たことがない」と言われました。

今後専念生となりますが、会計士受験生でもなにか経済的負担を減らせる制度などご存知でしたら教えていただきたいです。

↓

TAC校舎受付や簿記検定講座室・校正などのアルバイトに携わる場合に、会計士講座割引受講制度が適用できる場合があります。

Q7/7.

12月短答は通りましたが税理士試験の簿財を持っていて、短答は財務免除でした。年内に財務理論の授業は全て受け終わりそうで、その後計算について、講座は受けずテキストとトレーニングを使って学習(思い出す)する予定です。気をつけるポイントがあれば教えて頂きたいです。

↓

財務計算のトレーニングについては、論文重点出題項目を意識して取り組むようにしましょう。のちにトレーニングを使わなくてよくなるように、論点チェックリストやテキストへミス一元化を進めましょう。

財務計算 論点チェックリスト活用例

※web school上部→「学習フォロー」→「教材」→「計算論点チェックリスト」pdf

テキスト①[金融商品・外貨]

財務会計論【計算】論点チェックリスト I

p.2

論点	内容	CHECK	POINT
手形取引 (続き)	営業外手形		本業以外の取引によって生じた手形は営業外手形として処理する。一年基準により長短分類する。
	手形貸付金・手形借入金		借用証書の代わりに手形を振り出すこともあるが、B/S表示は借用証書の借入金・貸付金と同様。通常は短期であるため、短期借入金・短期貸付金として表示する。
有価証券 (その1)			流動資産に区分する。決算において時価評価を行い、評価差額は純額で営業外損益として処理する。
	売買目的有価証券		売却損益、評価損益、受取配当金、有価証券利息を一括して「有価証券運用損益」として表示することもできる。
			評価差額の処理には切放方式(期首振戻がない)、洗替方式(期首振戻がある)がある。どちらの場合でも利益に与える影響は同じ。
			一年以内に満期の到来する債券は流動資産に区分する。それ以外は固定資産(投資その他の資産)に区分する。 <u>トレ4-5 振替忘れた! 償還日チェックする。また忘れた! 12月4日33。</u>